

TCM

Tokyo College of Music

GUIDEBOOK 2027



東京音楽大学



音に満ちあふれる日々。



その学びが、未来を奏でる。

音楽のチカラを信じよう。

「音楽には、人の心を動かし、人生を豊かにするチカラがある」
 それは、特別な瞬間だけでなく、日々の暮らしの中で
 私たちを支え続ける存在であると、東京音楽大学は確信しています。
 本学での学びを通じて、挑戦し、悩み、仲間と高め合う日々は、
 やがて未来を切り拓く大きなチカラとなるはずです。

INDEX

学長メッセージ	5
ビジョン/建学の精神と理念/学校組織図/沿革	7
キャンパス紹介	9
音楽学部音楽学科	
声楽専攻 声楽芸術コース	11
声楽特別演奏家コース	
器楽専攻 鍵盤楽器 ピアノ	13
ピアノ演奏家コース	
ピアノ・創作コース	
チェンバロ	
オルガン	
器楽専攻 弦楽器	15
器楽専攻 管打楽器	17
作曲指揮専攻 作曲「芸術音楽コース」	19
作曲指揮専攻 作曲「ミュージック・メディアコース」	21
作曲指揮専攻 指揮	23
音楽文化教育専攻	25
ミュージック・リベラルアーツ専攻	27
吹奏楽アカデミー専攻	29
ミュージックビジネス・テクノロジー専攻	31
カリキュラム構成	33
教職課程	35
グローバル教育/マスタークラス	37
学生サポート/奨学金/学費/学生寮/ほか	39
コンクール	41
キャリア支援	43
大学院音楽研究科	46
附属機関	47
音楽を通じた地域・社会との交流	48
4者4様! TCM People	49
東京音大生150人に聞いた! なんでもアンケート	51
卒業生メッセージ	53
教員紹介	55



東京音楽大学 創立120周年に向けて

120th
Anniversary
東京音楽大学
2027



音楽を学ぶことで、
人間としての力を高めてほしい。

東京音楽大学によろこそ。

音楽を学ぶことは、他のどの学問や芸術の他の表現領域と同様、長い道のりです。それは皆さんが生きていくこととほとんど同じことだと言えるでしょう。

演奏、創作、研究、このどの分野においても我われ音楽家は過去を学び、現在を生きながら、未来を切り拓こうとします。このためには、まず人間としての総合的な力、基礎的な力、それと同時になによりも鋭い感性を身につけていくことが重要となります。

創造的な活動を行なっていくためには、健康でいること、健全な精神を持っていることもとても重要です。なによりも皆さんが蓄えている若いエネルギー、情熱を存分にぶつけてください。そうすれば必ずと道が切り開かれて行くはずで。

ぜひ本学でご自身の新たな可能性を発見してください。もし皆さんが音楽の学修を通じて今後より幅広い社会へと飛び立っていくとしても、以上のことはとても大切なのです。

東京音楽大学では、すてきなキャンパスライフが待っていることでしょう。すばらしい先生方のレッスンと同時に、音楽の専門だけにとどまらない多種多様な授業も用意されています。自分の専攻以外のことを知るすばらしいチャンスにもなりますし、国際的な感覚も存分に磨いていただく環境が整っています。

そして今、東京音楽大学はさらなる飛躍をとげようとしています。欧米の音楽大学との新しい提携や交流も増えていく中、2027年には私立の音楽大学としてはじめて創立120周年を迎え、さまざまな行事が予定されています。また2024年度に開設したミュージックビジネス・テクノロジー専攻に加え、今後さらに音楽と工学とのつながりや、新しい国際的クリエイターを作っていくといった今までにない未開拓分野へと踏み込み、新しい音楽大学像を提示していきます。常に時代との協働、結びつきを重視する本学に注目していただき、人間として、そして音楽家としての力をぜひ本学において高めていってほしいと切に願っております。

野平 一郎

野平 一郎 学長

東京藝術大学音楽学部作曲科、同大学院修士課程を経て、1983年パリ国立高等音楽院にてブルミエ・プリ取得。

これまでに、尾高賞、京都音楽賞、サントリー音楽賞、ENEOS音楽賞、日本芸術院賞等数々の賞を受賞。2012年 紫綬褒章受章。

現在、静岡音楽館AOI芸術監督、東京文化会館音楽監督、仙台国際音楽コンクールピアノ部門審査委員長、モナコ・ピエール皇太子財団音楽評議員。東京藝術大学名誉教授。

2023年4月より東京音楽大学学長。

東京音楽大学ビジョン

— 音楽文化の新たな地平を拓く —

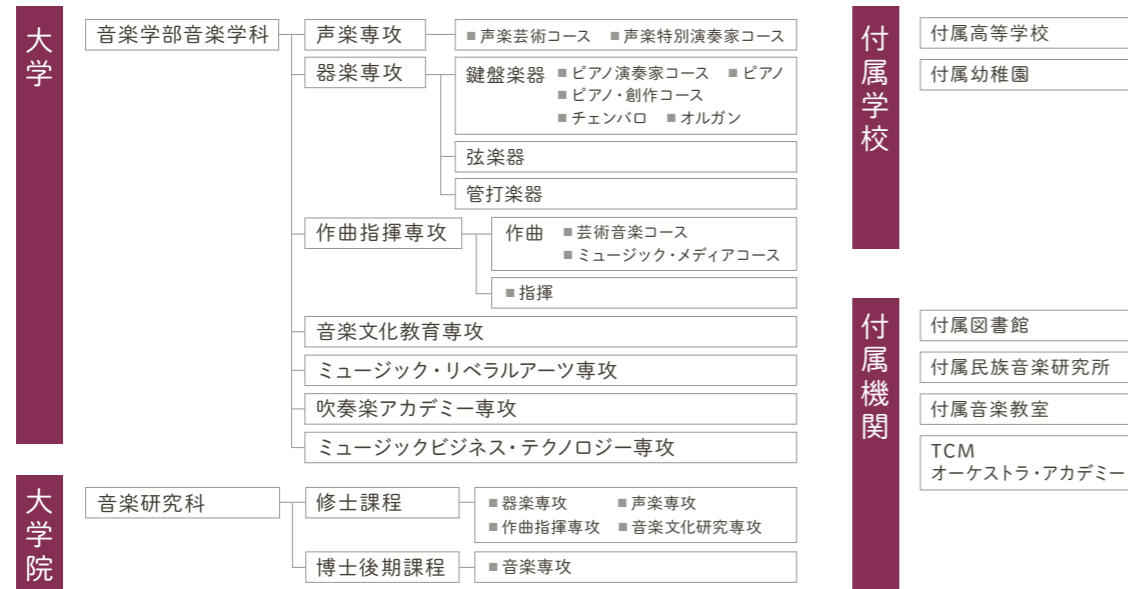
1. 全学を挙げた先進的な活動により、音楽文化の新たな地平を拓きます。
2. 変化し続ける社会を見据えて、音楽で感動を与え、音楽で明日をつくる人材を育成します。
3. 音楽文化の多角的な研究を展開し、広く成果を発信します。
4. 双方向の国際交流を活発化し、多文化が共存するキャンパスを目指します。
5. 鋭意音楽活動を展開し、地域社会の活性化、文化力の向上に積極的に貢献します。
6. クリエイティブ・キャンパスを創出・運営し、構成員が自ら成長し続ける大学を実現します。

建学の精神と理念

東京音楽大学は、鈴木米次郎により1907年に設立された東洋音楽学校を前身とする、日本で最も古い歴史をもつ私立音楽大学です。

本学は「音楽を通して社会に貢献する」という理念に基づき、西洋音楽に関する学問の探求と高度な音楽技量の修得を通じて教養豊かな音楽家および音楽教育者を育成してまいりました。この建学の精神は「アカデミズムと実学の両立」「音楽による社会貢献」「国際性」という教育の基本理念として、現在の学則と教育にも反映され、その結果、本学は国内外の著名なコンクールやオーディションなどの入賞者、入選者を例年多数輩出し、音楽界、教育界だけでなく、国内外の経済界にも優秀な人材を送り出しています。

学校組織図(教育・研究組織)



進化し続ける東京音楽大学

東京音楽大学は2027年に創立120周年を迎えます

- 1907年(明治40年) ● 鈴木米次郎が神田裏猿楽町に東洋音楽学校を創立
- 1908年(明治41年) ● 管弦楽部設置
- 1924年(大正13年) ● 豊島区南池袋(現)に校舎移転
- 1949年(昭和24年) ● 付属高等学校開設
- 1950年(昭和25年) ● 付属幼稚園開設
- 1954年(昭和29年) ● 東洋音楽短期大学設立
- 1963年(昭和38年) ● 東洋音楽大学(4年制)に移行
- 1969年(昭和44年) ● 東京音楽大学に名称変更
- 1974年(昭和49年) ● 付属音楽教室開設
- 1975年(昭和50年) ● 付属民族音楽研究所開設
- 1993年(平成5年) ● 大学院音楽研究科修士課程開設
- 2007年(平成19年) ● 創立100周年
記念本館(A館)竣工
- 2014年(平成26年) ● 大学院音楽研究科博士後期課程開設
- 2017年(平成29年) ● ミュージック・リベラルアーツ専攻新設
- 2019年(平成31年) ● 中目黒・代官山キャンパス開設
吹奏楽アカデミー専攻新設
- 2020年(令和2年) ● 付属高等学校が池袋キャンパスに移転
- 2021年(令和3年) ● 作曲指揮専攻
作曲「ミュージック・メディアコース」改編
- 2022年(令和4年) ● 池袋キャンパスに新学生寮開寮
- 2024年(令和6年) ● ミュージックビジネス・テクノロジー専攻新設



創立者 鈴木米次郎



創立当初の校舎



1930年代の演奏会風景



2009年 ヨーロッパ・チャリティー演奏会
ムジークフェラインザール(ウィーン)



2022年 東京音楽大学創立115周年特別演奏会
サントリーホール

2027年(令和9年)
創立120周年



中目黒・代官山キャンパス

池袋キャンパス



中目黒駅と代官山駅から徒歩約5分という立地のよさに加え、都心でありながら豊かな緑の中で芸術性・創造性を育む環境です。地域の方にもお越しいただける演奏会が多数開催されているTCMホール、最先端の音響設備を備えたTCMスタジオ、防音性に優れたレッスン室や練習室、クリエイティブラボなど、音楽学修に最適な環境が学修・創作・研究意欲を刺激します。本学最新の取り組みを社会に発信する拠点です。

グッドデザイン賞、第61回BCS賞、2021年日本コンクリート工学会賞受賞

①TCMホール：音が回遊し包まれるように設計されています。ソロ、デュオはもちろん、室内オーケストラも最適な響きで演奏、鑑賞することができます。②レッスン室：80室以上あるレッスン室は、木のぬくもりを感じる最適な音響を備えています。音の反射、拡散、吸音のバランスを考慮した穴あき特殊壁。③キーボード室：キーボードハーモニヤやピアノ・プラクティカル・トレーニングなどの授業が行われています。④練習室：レッスン室同様に最適な音響を備えています。2キャンパス合わせていつでも練習できる部屋数を有し、練習に集中できます。⑤クリエイティブラボ：音楽を探求する学生が世界観を広げ、人間性、発想力、企画力、ビジネススキルなどを高めていけるように「音楽」と「教養」を柱に、グローバルな新しい学びを得るための場所を設けました。学内イベントや教育プログラムとの連携、学生同士のコミュニケーションの場でもあります。⑥TCMスタジオ：全専攻の学生が利用できる録音スタジオです。最先端の録音機材を採用しています。⑦学生レストラン：「音楽の森」と「みどりの鎌倉街道」に囲まれた、自然を感じる安らぎのあるレストランです。⑧みどりの鎌倉街道：第28回緑の環境プラン大賞特別企画『おもてなしの庭』部門の大賞を受賞。

池袋駅から徒歩約15分、地下鉄副都心線雑司が谷駅から徒歩約5分、寺社が散在し、ノスタルジーを感じさせる街並みに立地しています。806席ある100周年記念ホールを擁する本館では、明るく開放的な空間の中で練習に没頭できます。2020年度よりキャンパス内に付属幼稚園、付属高等学校から大学院まで一貫教育の環境が整えられました。付属図書館や付属民族音楽研究所も併設され、教育・研究の拠点となっています。

①J館地下レコーディングルーム/DAWルーム：商業音楽分野で必要とされる作編曲技法の習得、スタジオレコーディングなどを学ぶ場所です。2019年に大幅な改修工事を行い、さらに充実した設備環境を実現しました。②ガレリア：トップライトから自然光が降り注ぐ吹き抜けのガレリアを中心に、周辺にガラスを効果的に用いた練習室を配置した開放的な空間。③教室（ミニホールA200教室）：高度な音響性能を要求される教室が多数配置されています。ミニホール（202席）は教室として講義や公開レッスン、試演会などにも使用されます。④B館スタジオ：オランダ製のパイプオルガンを配置したスタジオ。オルガンレッスンのほか、オーケストラや吹奏楽などの授業が行われています。⑤J館：2020年度より付属高等学校が池袋キャンパスに移転したことに伴い、特色ある高大一貫教育を推進しています。⑥100周年記念ホール：806席あるシューボックス型の音楽ホールで、オペラ上演をはじめ、年間多くの演奏会を開催しています。⑦池袋キャンパス食堂：天井の高い約200席の開放的な食堂です。



世界を魅了する声楽家を目指して。



学内「第九」演奏会



オペラ実習



合唱



世界でたったひとつの自分の声を「楽器」として育て上げるために、基礎的な発声法などを学びます。本学の伝統である多角的かつ複数の教員から受けられる手厚い指導と充実したカリキュラムで、学生一人ひとりが見出し、磨き上げ、目指す道へ進む力を育みます。

声楽芸術 【1年次:全員】

基礎的な発声法を学びながら「舞台基礎入門講座」でオペラはもちろん、すべての舞台表現の基礎を学びます。

声楽芸術コース 【2～4年次】

あらゆる歌のシーンで活躍できるよう、歌曲からオペラ、ミュージカルまで、本人の希望に合わせたさまざまなジャンルの曲のレッスンが可能です。「オペラ実習」では、声楽家、演出家、指揮者による手厚い指導が行われます。

声楽特別演奏家コース 【2～4年次】

「特別実習」では、声楽家、演出家、指揮者らの指導のもと、高度で実践的な授業が展開されます。2年次からの本コースへの在籍生は、定期実技試験の成績などにより決まります。

Curriculum

主なカリキュラム

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
専攻科目		声楽実技 合唱		声楽実技 合唱		声楽実技 合唱		声楽実技 合唱 卒業演奏	
専門共通科目	必修科目	副科実技(ピアノ) ソルフェージュ 和声 西洋音楽史概論		副科実技(ピアノ) ソルフェージュ 和声		—		—	
外国語		外国語(英語のほか、イタリア語・ドイツ語・フランス語から1科目以上)							

【専攻科目(選択)】 舞台基礎入門講座、特別実習、オペラ実習、フランス歌曲、ドイツ歌曲

Pick Up

授業ピックアップ

オペラ実習

大学院からオペラ実習を開始する学校も多い中、本学では学部から本格的にオペラの実践を学べる点が最大の特色です。2年次から本番を想定した舞台に立ち、演技や発声、演出を総合的に学びます。各クラスに声楽・指揮・演出・発音指導・伴奏ピアニストが指導者として入り、徹底的にサポート。ミュージカルナンバーも取り入れ、幅広い表現力を養います。少人数制の充実した指導体制のもと、実践経験を積みながら力を磨きます。

合唱

最大の特徴は、国内外の一流のオーケストラとの合唱共演があること。年末の「第九」をはじめ、年に複数回「第九」以外の作品でも共演の場があります。世界を代表する指揮者やソリスト、プロオーケストラと同じ舞台に立つことで水準の高い音楽に触れ、プロとしての姿勢を学ぶことができます。授業においては、パート別練習、分唱を経て混声合唱に移行。合唱のみならずオペラやアンサンブルでも通用するよう発声、発音を指導しています。

Message

教員からのメッセージ

横山 恵子先生

声楽専攻
教授



Voice

在学生からの声

鳥羽 寿光さん

声楽専攻2年
松戸市立松戸高等学校卒業



夢は100人100通り。
舞台への道を実現させるための教育。

声楽専攻の教育の特色はプロの現場を模した実践授業です。1年生から用意されている「舞台基礎入門講座」では、舞台に必要な歌唱表現、ステージマナーに加えて、いろいろな役になりきるための演出家による演技指導も受けられます。2年生からはじまるオペラの授業では、ミュージカル曲も取り扱い、常に学生の希望に添うようにカリキュラムが組まれています。アンサンブルを指揮者とともに学ぶ2回の試演会(発表会)では、歌の知識だけにとどまらず、クラスで作上げていく協調性と人間力も身につけることができます。皆さんのご入学をお待ちしています。

実践が、舞台人としての意識を育てる。

声楽専攻は、個人レッスンに加えオペラ実習や語学の授業といった、歌うために必要な基礎力を身につけることができます。特に「オペラ実習」の授業では、指揮者、演出家、共演者、舞台スタッフなど多くの先生方からご指導をいただくことができ、ひとつのオペラを作り上げる過程で、舞台人としての姿勢を学ぶことができます。また、自分ひとりで歌っているのではなく、常に周囲に気を配り、舞台全体を考慮して行動するという意識が高まったことで、自身の演奏活動につながる気づきを得ることができました。このように、早くから実践を通じて学べるのは本学の魅力であると思います。私はこの恵まれた環境を最大限に活用して今後も研鑽を重ね、いずれは国内外で活躍できる声楽家を目指したいと思います。

器楽専攻 鍵盤楽器

鍵盤からすべてを「表現」し、「発信」する。
それを可能にするのは共感する力、理解する力。



ローナン・オホラ特任教授

小川 典子特任教授

エリン・ヴィルサーラーゼ特任教授



ピアノ作品解釈とキャリア研究



室内楽（ピアノを含む課題曲選択による室内楽）

すべてのコースにおいて基礎能力の向上と、自身の特性を発見できるプログラムになっています。共通するポリシーは「作品の意思を聴く人に伝えるため、演奏を学生各自の極限まで磨くこと」「人間の湧き上がる感情と意思が作品にどう投影されているかを冷静に判断する知見をもつこと」です。この演奏芸術の要となる2つを軸に、フィジカルな演奏鍛錬のみならず、作品の分析力や創作力の向上と、「学生各自がもつ作者への親和性」を最大限に引き出しながら学修します。ピアノのレッスンは、希望により複数の教員から学ぶことが可能です。2年次からの「室内楽」「ピアノ実践伴奏」では、他専攻とのコラボレーションの機会が飛躍的に増えます。国内外の演奏家や教育者、さまざまな分野の専門家も招いて行われる「ピアノ作品解釈とキャリア研究」、海外招聘教授によるレッスンや海外短期留学の機会など、多彩な学修プログラムが整えられています。

ピアノ

- ・基礎からステージでの演奏、コンクールでの演奏、さらには実際の演奏活動までを個人レッスンを中心に体得します。個人レッスンでは将来指導者を目指すための知識も豊富に得ることができます。
- ・全学年対象のオーディションによる学内演奏会、3年次の定期実技試験の成績優秀者による春のコンサートがあります。

ピアノ演奏家コース

- ・読譜力の速さと緻密さを養い、長時間の演奏プログラム、作品の様式感を徹底的に学修します。
- ・定期実技試験の成績優秀者は、学外で開催される「東京音楽大学ピアノ演奏会～ピアノ演奏家コース成績優秀者による～」に出演します。

ピアノ・創作コース

- ・ピアノの個人レッスンに加え、楽曲創作の学修により読譜力を向上させ、自作発表までを経験できます。
- ・「創作実技」（作曲）、「作曲理論基礎」（和声・対位法・管弦楽法など）は、作曲「芸術音楽コース」の教授陣が習熟度に合わせた指導を行います。

チェンバロ オルガン

- ・本格的なチェンバロとオルガンを備えた環境で楽器の奏法を学びながら、正統的な演奏法を身につけ、ソロのみならず合奏でも活躍できる演奏家を育成します。
- ・主なカリキュラムはホームページをご覧ください。

Curriculum 主なカリキュラム

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
専攻科目	ピアノ実技 ピアノ初見法 *1 創作実技 *2 作曲理論基礎 *2		ピアノ実技 創作実技 *2 作曲理論基礎 *2		ピアノ実技 伴奏法 創作実技 *2 キーボードハーモニー *1		ピアノ実技 創作実技 *2 卒業演奏	
専門共通科目	ソルフェージュ 和声 *1 西洋音楽史概論		ソルフェージュ 和声 *1		—		—	

【専攻科目（選択）】 ピアノ特別実技*4、ピアノ・プラクティカル・トレーニング*3、ピアノデュオ講座、室内楽、ピアノ指導法、ピアノ初見法
ピアノ作品解釈とキャリア研究、ピアノ実践伴奏、伴奏演習、身体表現と音楽、音楽演奏科学

*1 ピアノコース、ピアノ演奏家コース *2 ピアノ・創作コースのみ *3 ピアノコースのみ *4 ピアノ演奏家コースのみ

Pick Up 授業ピックアップ

ピアノ作品解釈とキャリア研究

この授業は公開講座形式によって行なわれ、毎回異なるテーマで国内外の第一線で活躍中のゲストが来学します。ピアノ・マスタークラスを中心に、卒業後のキャリアに直結するピアノ指導や教育、楽器、また音楽と関わる医療分野まで、それぞれの専門家による講座で構成されます。音楽には演奏以外に社会と直結したたくさんのすばらしい分野があり、そこから音楽のもつ多様性を学び、音楽そのものの在り方を見つめ直すことを目指します。

室内楽（ピアノを含む課題曲選択による室内楽）

この授業は他楽器との共演や、合奏で求められる技術を修得します。ピアノはひとりでも演奏できますが、コラボレーションの多い楽器でもあります。共演相手と音楽を分かち合うよるこびを知ることは音楽人生の中で最も幸福な瞬間と言えるでしょう。専攻実技担当教員以外のピアノ教員と、他の楽器の教員の2人体制のレッスンを受けることが可能です。他専攻学生との交流を通して、音楽的な感性を磨いていきます。

Message 教員からのメッセージ

石井 克典先生
器楽専攻
教授
ピアノ



Voice 在学生からの声

国本 奈々さん
器楽専攻（ピアノ演奏家コース）3年
山口県立長府高等学校卒業



「人を理解する優しさ」から自分の可能性を発見しよう！

ピアノはシンプルな楽器である一方、とても奥の深い楽器でもあります。自分の状態によってさまざまな心の変化を音にしてくれます。言葉で話すように自分の心情や曲の気分を伝えられるようになると、普段話す日本語とは別の言語で自分の心の状態を伝えられるよるこびが得られるでしょう。まずは落ち着いて耳を澄まして自分の奏でる音、人の奏でる音を聴くことを心掛けてください。「自分を聴く」「人を聴く」ことは音楽家にとって大切なことである以上に、事の本質に近づくことができる「理解しようとする優しさ」そのものだと思っています。これを皆さんが大学生活の間に育てることで、自身の思わぬ可能性に出会えると信じています。

ピアノと向き合い、答えを出せた、大切な時間。

実技に集中できる環境で学びたいと考え、本コースに入学しました。師事する先生から、ピアノを学ぶ上で大学4年間は人生の中でも特に重要な時期だと教えていただきました。器用なタイプではない私にとって、課題の一つひとつ丁寧に取り組み、時間をかけて向き合える環境はとても貴重でした。その積み重ねが、日本音楽コンクールでの入賞につながったのだと思います。ピアノと向き合う進路には不安もありましたが、大学でさまざまな挑戦をする中で積み上げた経験のおかげで何をすべきかが具体的に増えてきて少しずつ自信ができました。現在は短期留学生に選出され、ピアノと英語の猛特訓中で、実際に英語を使い音楽を学び生活する日が楽しみです。皆さんにも東京音大でたくさんの経験を積んで自信をつけてほしいと思っています！

器楽専攻 弦楽器

美しく豊かな響きを追い求めて。個性の輝き、そして協調へ。



弦室内楽



弦楽合奏



弦楽器独特の美しく豊かな響きを追求するとともに、楽曲の様式・時代背景・作曲者の意図などを学びます。個人の個性と感性を生かして才能を伸ばし、学んだことを表現するためのテクニックを身につけます。

管弦楽や合奏などの授業においては、「聴(みみ)」を育て協調性を養います。オーケストラも社会の縮図のようなものです。その中で、協調しながら自分をいかに主張していくのかを考えます。社会人として音楽にどう向き合っていくのか、何のために音楽に携わっていくのかを探求し、人間としての成長を助けます。

- 週1回の個人レッスンでは、技術の向上や具体的な表現方法を、指導者の豊富な音楽経験に基づいて丁寧に指導します。
- 「弦楽合奏」や「弦室内楽」の授業では、まずアンサンブルの基礎を学びます。
- 「管弦楽または合奏」の授業では、より大編成のオーケストラ曲にも挑戦し、多様なアンサンブルについて深く学びます。年間で数回行われる学内ホールでの演奏会や、他の音楽大学との合同演奏会、年1回の「シンフォニーオーケストラ定期演奏会」などに出演します。
- 提携している海外の音楽大学に短期留学をする制度があるほか、国内外招聘音楽家による公開レッスン、公開講座などを受ける機会があります。
- 外部団体からの依頼により、ソロや弦楽四重奏で演奏会に出演する機会もあります。

Curriculum 主なカリキュラム

専攻科目	必修科目	1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
専攻科目	必修科目	弦楽器実技 弦室内楽 弦楽合奏 *1 管弦楽または合奏		弦楽器実技 弦室内楽 管弦楽または合奏		弦楽器実技		弦楽器実技 卒業演奏	
専門共通科目		副科実技(ピアノ) ソルフェージュ 和声 西洋音楽史概論		ソルフェージュ 和声		—		—	

【専攻科目(選択)】 管弦楽または合奏、弦室内楽、吹奏楽(コントラバスのみ) *1: ハープ・クラシックギター除く

Pick Up 授業ピックアップ

弦室内楽

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ専攻者は古典派の弦楽四重奏曲を学びます。コントラバス専攻者は、古典派の弦楽四重奏曲とオーケストラスタディを学びます。ハープ、ギター専攻者は、古典派の弦楽四重奏曲と二重奏曲を学びます。室内楽の基礎的な技術と知識を修得し、標準的な編成の室内楽作品を理解することが目標です。

弦楽合奏

弦楽アンサンブルでひとつの演奏会を仕上げることを目標に、個々が責任をもったグループワークを学びます。また、音楽の醍醐味であるアンサンブルを楽しみます。卒業式などの式典でも成果を披露します。

Message 教員からのメッセージ

大谷 康子先生
器楽専攻
客員教授
ヴァイオリン



豊かな心で、
未来社会に貢献できる人に。

人に感動をもたらす演奏は、表現する技術がともなってこそ。この技術の習得とともに、作品の時代背景、作曲家の意図、様式などを学んでいきます。室内楽やオーケストラの授業では、音でのアンサンブルだけではなく、人とのコミュニケーション能力も養われます。校風として個性を大切に、果敢な挑戦を応援します。豊かな人間として社会貢献につながるように願っています。

Voice 在学生からの声

鶴森 まりなさん
器楽専攻(ヴァイオリン)4年
茨城県立取手松陽高等学校卒業



人と人をつなぐ。心を動かす。
音楽がもつ力を、信じる。

東京音楽大学に入学して、同じように音楽を愛し、互いに支え合いながら高め合える仲間に出会えたことは、私にとって何ものにも代えがたい宝物です。素晴らしい先生方のもとで、専門的でありながら一人ひとりに寄り添ったあたたかい指導を受け、音楽を深く学んだ4年間は、確かな自信と人生の糧になっています。4年次の途中からプロのオーケストラに入団した今も、毎日が学びの日々です。大学で得た「音楽が人と人をつなぎ、心を動かす力をもつ」という気づきを忘れず、これからも楽しみながら真摯に音楽と向き合っていきたいと考えています。

器楽専攻 管打楽器

自らの音を磨き上げ、相手の音に耳を澄ませます。
すべては調和するよろこびのために。



高度な技術と豊かな表現力をもった音楽家の育成へ。第一線で活躍する教授陣が、“プロフェッショナルを目指す学生”に対し、真摯で熱心な指導を行います。さらに、個々の音楽技能の向上だけでなく、あらゆるステージで生かすことのできる基礎を1年次から順序立てて学べるアンサンブルの授業も充実。合奏における協調性と意思疎通の能力を磨くことを重視したレッスンは、他者との調和を学びながら一緒に音楽を創造する能力が培われます。

技術的な指導に留まらない人間力を育む指導は、プロフェッショナルのプレイヤーとして活躍する優れた演奏家のみならず、社会的に責任感のある個人として成長できる人材を多く輩出しています。

■「管弦楽または合奏」では、1年次に同属合奏や木管五重奏、金管五重奏などで合奏の基礎を、2年次からは管打楽器によるオーケストラスタディ、そしてフルオーケストラと、アンサンブル技術を段階的に学んでいきます。

■「Sオケ」「Aオケ」の2つのオーケストラと、「Aプラス」「Bプラス」の2つの吹奏楽が生まれ、いずれも構成は学生のみ。本学ならではのスケールです。

■授業の集大成として、東京芸術劇場はじめ学外のコンサートホールにて定期演奏会を実施します。2025年度においては、「シンフォニーオーケストラ定期演奏会」は約120名（弦楽器含む）、「シンフォニック ウインド アンサンブル定期・特別演奏会」は約160名と、大迫力の演奏を披露しました。

■キャンパスが立地する目黒区と豊島区のそれぞれにて開催される地域連携コンサートなど、学外で演奏できる機会も多くあります。

Curriculum 主なカリキュラム

専攻科目	必修科目	1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
専攻科目	必修科目	管打楽器実技 吹奏楽 管弦楽または合奏	管打楽器実技 吹奏楽 管弦楽または合奏	管打楽器実技		管打楽器実技 卒業演奏			
専門共通科目		副科実技(ピアノ) ソルフェージュ 和声 西洋音楽史概論	ソルフェージュ 和声	—		—			

【専攻科目(選択)】 吹奏楽、管弦楽または合奏、室内楽、管打指導演

Pick Up 授業ピックアップ

吹奏楽

1~2年生が「Bプラス」、3~4年生が「Aプラス」と、クラス別に指導を受けます。年に2回、学外での定期演奏会を開催し、外部から指揮者を招いてプロフェッショナルな演奏環境での経験を積みます。演奏技術だけでなく、合奏を通して協調性やチームワークが磨かれます。

管弦楽または合奏

1年次は同属楽器による合奏などを通して合奏の基礎からはじめ、2年次からは「オーケストラスタディ」として、さまざまなオーケストラのレパートリーを学びます。3~4年次は弦楽器を含むフルオーケストラ形式での演奏にステップアップ。前期は計3回の学内演奏会、後期は学内と学外の両方での演奏会に加え、学内「第九」演奏会に出演します。

Message 教員からのメッセージ

栗田 雅勝先生
器楽専攻
教授
トロンボーン



4年間の音楽大学生活を経て
優秀な演奏家・社会人を育成します。

本専攻は、数多くの教育者や優れた演奏家を世に送り出しています。学習面においてはソロをはじめ、同属・木管・金管・打楽器それぞれのアンサンブル、オーケストラスタディ、ふたつの吹奏楽とフルオーケストラなどを通して、演奏家としての基礎を4年間で身につけます。皆さんが将来プロの音楽家になるために、著名な演奏家でもある講師陣が、技術面のみならず演奏家・音楽家としての心構えをしっかりと指導していきます。

Voice 在学生からの声

古市 日菜さん
器楽専攻(打楽器)2年
東京音楽大学付属高等学校卒業



東京音大での学びを糧に、
音楽の魅力を届ける力を磨く。

付属高校から東京音大で学び、基礎から専門知識まで充実した音楽教育を受けています。個人レッスンでは一流の先生方が温かく丁寧に指導していただき、技術だけでなく人としても成長していることを実感する日々。多様な専攻の仲間や先生方のご縁が刺激となり、音楽の視野が広がりました。「音楽が好き」という気持ちを超え、自分の音楽を通して音楽の魅力を伝えたい。その目標に向かい、音楽と人への愛をもち、世界に目を向けて努力を続けていきたいです。

作曲指揮専攻 作曲「芸術音楽コース」

先人の技法を学び、自分だけの音を紡ぐ。
創作するよろこびがそこにある。



作曲ワークショップ



作曲「芸術音楽コース」教員によるコンサート



作曲新曲演奏会



作曲理論1



作曲理論3B

作曲「芸術音楽コース」では、古典から現代に至る作曲技法を学びながら、さまざまな編成の楽曲を創作することで創作力および対応能力の養成を図ります。劇音楽やゲーム音楽など商業音楽分野の作編曲に興味のある学生は、芸術音楽をベースにしながらマルチメディアに対応したレッスンを受けることも可能です。また、自作品の演奏機会が数多く設けられているのも、本コースの魅力のひとつです。

- 1年ごとに指導を受ける教員を自由に選べます。
- 「作曲理論」は、1年次と2年次でオーケストレーション（音楽理論を含む）、3年次はコンピューターを使用した音楽と吹奏楽作編曲を学び、4年次は、さらなる個性の伸長を目的に、現代の作曲語法を中心とした総合的な作曲能力を高めます。
- 2003年より毎年、「学長賞受賞作品選演奏会」を本学ホールで開催しています。譜面審査で選ばれた作品が演奏会で審査され、最優秀作品には「東京音楽大学学長賞」（賞状と賞金）が授与されます。
- 国内外の著名演奏家・アンサンブル団体を招いて作曲ワークショップを多数開催しています。最先端の作曲技術や各国の民族楽器への理解を高め、学生が試作した楽曲を実際に音にすることにより、作曲能力の向上と同時に、作曲家にとって重要な「演奏者とのコミュニケーション力」を身につけることができます。
- 4年次の卒業制作（オーケストラ作品）において、優秀と認められた作品は、本学オーケストラ部会と管弦打学生の協力により、卒業作品演奏会の場で初演される機会を設けています。
- 作曲「芸術音楽コース」の最大のテーマは「個性の伸長」です。他の大学にはないとても自由な雰囲気、教員との関係性、環境の中で学生はのびのびと考え、学び、悩み、楽しみ、創作を通じて少しずつではあっても成長を続けています。多彩な個性をもつ作曲教員は、今の学生と同じよろこびや悩み、挫折を若い時期に経験しています。時には反面教師となり、学生の成長を見守ります。

Curriculum 主なカリキュラム

2027年度入学生は、2年次から「ミュージック・イノベーション課程（仮称）」※を履修できます。この課程では、作曲および音楽・音響制作の実践力を基盤に、海外研修を含む国際的な学修・制作環境で学びながら、グローバルな現場で活躍できる構想力・協働力・発信力を身につけます。

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
専攻科目	作曲実技 作曲理論 対位法		作曲実技 作曲理論 対位法 指揮法		作曲実技 作曲理論		作曲実技 作曲理論 卒業作品	
必修科目								
専門共通科目	副科実技（ピアノ） ソルフェージュ 西洋音楽史概論		副科実技（ピアノ） ソルフェージュ		—		—	

【専攻科目（選択）】 コンピューター・サウンドテクニク
*2023年度より、東京電機大学理工学部と単位互換を開始しました。

※本課程は、文化庁「クリエイター等支援事業」の採択を受けて設置されるもので、詳細は2026年5月以降随時ホームページに掲載します。

Pick Up 授業ピックアップ

作曲理論1

古典から現代作品に至るまでの室内楽、交響曲、オペラなど多くの作品例を参照しながら、作曲やオーケストレーションのテクニックを実践的に学びます。各楽器の効率的な活用の仕方、よい響きを創り出すための方法論、コンピューター浄書ソフト使用を含めた楽譜の書き方など、作曲に必要な基礎知識を幅広く得るための授業。机上で資料を学ぶだけでなく、実際の音響に触れ、よりリアルな音楽の「現在」へと導くことを目標としています。

作曲理論3B

吹奏楽の書法を扱う授業です。作曲の学生が卒業後に吹奏楽（多くはアマチュアによって演奏される）と関わる機会は少なくありません。ここでは、プロフェッショナルではなくアマチュアの奏者を想定した作曲法が要求されます。また、音楽的価値観以外の観点も不可欠となります。最終的には吹奏楽のみならず、学生諸氏がそれぞれ「誰のために」「何を」書くのか、という作曲家としての方向を見据えることを目標としています。

Message 教員からのメッセージ

野平 一郎先生
作曲「芸術音楽コース」
教授



Voice 在学生からの声

滝川 小晴さん
作曲「芸術音楽コース」3年
千葉県立船橋高等学校卒業



あたらしい世界へ飛び立とう。

音楽でいちばん大事なものは創作の分野。ここが活発になれば音楽芸術全体が減ってしまう。過去の作品を学び、また近年の創作を研究する。こうして次第にあなた自身の作曲、あなた自身の「音」による創作が可能となります。それは誰のものとも違う、あなたの言葉によるあなたの音楽です。作品をつくることは大変ですが、完成した時のよろこびは何ものにも代えがたいものです。目の前には無限大の世界が広がっています。ぜひ自身の手で、次に来る世界を作ってみませんか。

紡ぐ譜面が音となり、立ちあがる、よろこびを。

私は主に現代音楽に関心をもち学んでいますが、周囲には電子音響、劇伴、世界の伝統音楽など、それぞれ異なる領域を探究する学生も集まっています。第一線で活躍されている先生方からは、幅広い作曲技法や理論を学びつつ、それぞれの個性や志向を尊重した指導をいただいています。そのため、学内の作品発表の場で奏でられるのは、ほかの演奏会ではなかなか観られない色彩豊かなプログラム。また、他専攻の学生も皆さん優秀で、日々の交流を通して多くの学びを得ています。自分の紡いだ譜面が、演奏家により音となって立ちあがる。この経験は、何度味わっても心動かされずにはいられません。作曲を志す皆さんに東京音楽大学でこのよろこびを感じてほしいと、強く思います。

作曲指揮専攻 作曲「ミュージック・メディアコース」

時代に対応した
さまざまな音楽ジャンル、メディアに。
音楽業界で即戦力となる人材に。

音楽業界で即戦力となるために、商業音楽分野で必要とされる作編曲法を基礎から学び、プリプロダクション、スタジオレコーディング、セルフ・プロデュースによる楽曲制作などを実践しながら、多様化したメディアに対応し、自分の音楽を積極的に世界へ発信できるアイデアと頭脳を併せもつ、時代に求められる人材の育成を目指します。

- 1年次は、週に複数回の課題提出により、「毎日作曲をする習慣」を養います。
- 2年次は、指定された構成、編曲、曲尺、用途、目的などの条件を満たす楽曲制作能力を養います。
- 2年次以降で、キーボード、ギター、ベース、ドラムスやソングライティングなどを深く追求するための選択科目を受講できます。
- 3年次は、ビッグバンド、ストリングスなど、ポップスにふさわしいオーケストレーション能力を修得し、代表的な編成での作編曲法を学びます。
- 4年次は、スタジオ録音、編集作業を実践的に学びます。
- 卒業制作としてセルフ・プロデュースによる自作曲のアルバム制作を行います。
- 「コンピューターアシテッドコンポジション」の授業で、1年次より4年間、音楽制作だけにとどまらない、時代の最先端のスキルを修得します。
- 入試の機会を見直し、これまで実施していた一般選抜（A日程）および外国人留学生選抜に加え、2025年度入試からは一般選抜（B日程）、また2026年度入試からは総合型選抜（日程①）でも募集しています。

Pick Up 授業ピックアップ

シンセサイザー

今や商業音楽の分野において、DTM、DAWを駆使した楽曲・音源制作のスキルは必要不可欠なものとなっています。この授業ではシンセサイザーの歴史にも触れながら、電子楽器を用いた“音づくり”の根幹となる基礎知識の修得を目指します。

スタジオ・セッション

バンド形態を基本としたアンサンブルにおける各楽器の音色やバランス、コンビネーションをスタジオレコーディングしながら学びます。この授業では各パートの教授が一同に集結。他楽器からの視点で指導を受けることができます。

2027年度入学生は、2年次から「ミュージック・イノベーション課程（仮称）」※を履修できます。この課程では、作曲および音楽・音響制作の実践力を基盤に、海外研修を含む国際的な学修・制作環境で学びながら、グローバルな現場で活躍できる構想力・協働力・発信力を身につけます。

Curriculum 主なカリキュラム

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	1 Semester	2 Semester	3 Semester	4 Semester	5 Semester	6 Semester	7 Semester	8 Semester
専攻科目	作曲実技 和声実習 シンセサイザー コンピューターアシテッドコンポジション 4リズムヘッドアレンジ ピアノコードワーク		作曲実技 コンピューターアシテッドコンポジション 映画放送音楽 オーケストレーション スタジオエレクトロニクス		作曲実技 コンピューターアシテッドコンポジション 映画放送音楽 オーケストレーション		作曲実技 コンピューターアシテッドコンポジション スタジオ・セッション 卒業制作	
専門共通科目	副科実技（ピアノ） ソルフェージュ 西洋音楽史概論 ポピュラー音楽史概論		ソルフェージュ ミュージック・ビジネス概論		—		—	

【専攻科目（選択必修）】 インストゥルメンツ・ベーシック、インストゥルメンツ・アドバンス

【専攻科目（選択）】 コンピューター・サウンドテクニク、ソングライティング実習

*2023年度より、東京電機大学理工学部と単位互換を開始しました。



Message

教員からのメッセージ



佐藤 直紀 先生 作曲「ミュージック・メディアコース」教授 作曲「映画・放送音楽コース」*第1期生

才能の翼で、エンターテインメントの未来へ羽ばたく。

あなたたちの創る音楽がエンターテインメントの世界を変える。音楽を職業とするために必要な知識のすべてを、そして今あなたたちが知りたいことを、本コースの講義でできる限りお伝えしたいと考えています。あなたたちの持っている新しい感性と才能はエンターテインメント業界の希望です。混群に紛れることなく、誰よりも高く飛翔し、誰よりも広大なフィールドを旋回する姿を期待して、本気で応援していきます。

- 第29回日本アカデミー賞最優秀音楽賞 ■ 第31・38・40・44・47回日本アカデミー賞最優秀音楽賞
- 国際映画音楽批評家協会 ファンタジー/SF映画部門作曲賞 ■ ファンゴリア・チェンソー・アワード最優秀音楽賞
- 最近作「ゴジラ-1.0」、「海に眠るダイヤモンド」など



山下 康介 先生 作曲「ミュージック・メディアコース」特任教授 作曲「映画・放送音楽コース」*第4期生

プロフェッショナルな体験と学びを得る。そしてグローバルな音楽活動につなげてゆく。

このコースは、作曲「映画・放送音楽コース」の時代から約30年、第一線で活躍する先生方をはじめ、本格的なレコーディングスタジオなど、常に変化し続ける音楽シーンとともに発展してきました。音楽を学ぶということは、よい音楽体験をすることでもあります。そのためのプロフェッショナルな環境がここにはあります。皆さんの想いと行動次第で、可能性は無限大に広がることでしょう。ぜひ世界で活躍できるクリエイターを目指してください。

- 主な作品 【映画】「花筐/HANAGATAMI」、「その日のまえに」 【ドラマ】「花より男子」、NHK連続テレビ小説「瞳」
- 【アニメ】「ドラゴンボールDAIMA」、「ちはやふる」 【特撮ドラマ】「暴太郎戦隊ドンブラザーズ」、「仮面ライダーセイバー」
- 【ゲーム】歴史シミュレーションゲーム「信長の野望」シリーズ など



西木 康智 先生 作曲「ミュージック・メディアコース」特任准教授 作曲「映画・放送音楽コース」*第17期生

見つけよう、人と人とのつながり。それは、音楽人生にとって、かけがえのない財産。

MMCは、「音楽を仕事にしたい」という漠然としたあこがれを、確かな技術と明確な目標へ導いてくれる学び舎です。私自身、ここで得た知識や経験、そして仲間との出会いに何度も助けられ、今も大きな支えとなっています。インターネットでさまざまな情報が得られる今でも、音楽が人と人とのつながりで生まれることは変わらないと感じます。どんなつながりでも構いません、MMCでそれを見つければ、きっとあなたの音楽人生にとってかけがえのない財産になるはずです。

- ファミ通アワード2018 最優秀ゲームミュージック賞 受賞
- The Game Awards 2018 Best Score/Music ノミネート
- 2019 G.A.N.G. Awards / MAGFEST People's Choice Award 受賞
- 主な作品「オクトパストラベラー」シリーズ、「遊戯王マスターデュエル」、「モンスター烈伝オレカバトル」 など

作曲指揮専攻 指揮

楽曲を深く理解し、自らの意思を伝える。
その情熱から表現は生まれる。



多くの人間からなるオーケストラを導く指揮者には、多様なものをまとめあげる力が求められます。さまざまな刺激を受け、自分が今までに考えもしなかったことに思い至ること、技能の巧みさや音響的感動だけを追い求めるのではなく、それぞれの作品が人の心に何をもちたらず書かれたかを理解すること、さらに自分の音楽を人々に共有するための表現力を獲得すること——。本学の作曲指揮専攻 指揮では、4年間の学びによって人間的に成長していくためのさまざまなカリキュラムを用意しています。

本専攻では指揮者だけでなく、演奏家、演出家、レコーディングディレクターや音楽療法士など、実に多彩かつ多才な教員が指導にあたっています。また、社会人に向けた指揮研修講座も開講しており、ここにもさまざまなもの見方や考え方もつな人が集まります。学生たちが、多様な人々の中で有形無形の学びを得られること。これは、ほかでは見られない本学だけの特長です。

本専攻のとりわけ特徴的なレッスンとして、「指揮・管弦楽コミュニケーション演習(実践レッスン)」があります。定期実技レッスンでは2台ピアノを指揮するのに対し、「実践レッスン」では器楽学生有志や教員が参加するオーケストラの指揮をします。指揮の講師だけでなく、ソリストやプロオーケストラ奏者として国内外の第一線で活躍する演奏家の視点からも専門的なアドバイスを受けられる、世界的にも珍しいレッスンを実現させています。

たくさんの友人や人生の先輩・後輩に囲まれた環境で、あらゆる角度からの学びを経て自分自身の中に新しい化学反応が起こり、人間として成長していくことを通して、指揮者に求められる力を少しずつ体得していくことができます。皆さんと一緒に学びあえることを、心待ちにしています。

Curriculum 主なカリキュラム

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		1 Semester	2 Semester	3 Semester	4 Semester	5 Semester	6 Semester	7 Semester	8 Semester
専攻科目	必修科目	指揮実技 オーケストラ実習 音楽理論 スコアリーディング 楽器奏法		指揮実技 オーケストラ実習 音楽理論 スコアリーディング 楽器奏法		指揮実技 オーケストラ実習 音楽理論 スコアリーディング		指揮実技 オーケストラ実習 音楽理論 スコアリーディング 卒業演奏	
専門共通科目		副科実技(ピアノ) ソルフェージュ 西洋音楽史概論		副科実技(ピアノ) ソルフェージュ		—		—	

Pick Up 授業ピックアップ

オーケストラ実習

器楽専攻の学生が受講する「管弦楽または合奏」の授業を指揮の学生も一緒に受講し、課題曲について作曲の背景や具体的な奏法などを学びながら、演奏会をむかえるまでの練習でどのように音楽が作り上げられるか、練習での試行錯誤が本番でどのような音楽として結実するのかを学びます。

音楽理論

和声理論や管弦楽法を学び、さまざまな作品の分析を行うとともに、それぞれの作曲家の作曲技法や様式などについて理解していくことを通して、作品に対する深い洞察力を養います。

スコアリーディング

フルスコアをピアノで自ら演奏することを通して、単に楽譜を読むことを超えて、緻密にオーケストラの響きを思い描く力を体得します。

楽器奏法

自分で選んだ楽器の個人レッスンを受けることができます。奏法の基礎からじっくり教わるレッスンを通して、楽器の演奏法にとどまらず、各楽器の役割や演奏上の留意点を学び、音を出してもらった演奏者への敬意をもって指揮する心を育みます。

Message 教員からのメッセージ

広上 淳一 先生
指揮
教授



Voice 在学生からの声

笹田 悠翔さん (左)
指揮3年
埼玉県立大宮光陵高等学校卒業
伊丹 悦洋さん (右)
指揮3年



人生に、絶対はない。
挑戦することこそ、人が育つチカラ。

指揮では「さまざまな人を広く受け入れる」という理念を掲げています。刺激の多い東京音楽大学であらゆることに果敢に挑戦してください。挫折を味わうこともあるかもしれませんが、その中で「絶対ということがない」ことを学んでほしい。困難をも自分の音楽への糧とする姿勢があれば、きっと道は拓けると思います。仲間とともに真剣に考えることを通して、明晰な頭脳と人間としての大きな度量を手に入れ、社会に貢献できる魅力ある人材に育つことを期待しています。

今この時を、未来につながる一拍として。

東京音楽大学の指揮は、実践での経験を豊富に積める、すばらしい環境が用意されています。そして、自分次第で、音楽の世界が無限に開かれる場所です。毎週の指揮個人レッスンや、オーケストラを前にした指揮実践レッスン、スコアリーディング、音楽理論など、それらの授業を通して音楽を深く学べることはもちろん、探求する音楽を通して自分自身と向き合える場でもあります。ただ利那に生きることだけでは陥らず、道は遥かな可能性に満ち満ちた未来へと続き、その通過点に確かな轍を残す。その志を以て、今この時を臨む毎日です。

音楽文化教育専攻



江の島の Soundscape



音楽教育 App マネー



ミュージカルと 楽曲分析

世界の音楽文化を
あなたの力でリードする。



音楽学



多文化音楽



音楽教育



音楽実技

音楽学・多文化音楽・音楽教育・音楽実技。新しいカリキュラムのもと、これらを自由に組み合わせて、自分だけの音楽を見つけていくことができます。

特に実技系の授業では、管打楽器をはじめ、学べる楽器や声楽の科目が大幅に増えました。音楽実技では、実技専攻のように、本学の優れた教員の指導のもと、これまでの皆さんの学びを継続して深めることができます。

音楽文化教育専攻では、卒業までにほぼ全員の就職や進学が決まっています。音楽・文化・教育についての幅広い知識と技能を身につけて、あなたの力で音楽文化をリードし、音楽文化のプレーンとして世界で活躍しましょう。

■卒業生の主な進路（順不同）

就職：四季株式会社、一般財団法人ヤマハ音楽振興会、公益財団法人としま未来文化財団、株式会社U-NEXT HOLDINGS、島村楽器株式会社、日本赤十字社、住友不動産ステップ株式会社、明治安田生命保険相互会社、SMBC日興証券株式会社、株式会社星野リゾート、東急リゾーツ&ステイ株式会社、株式会社興学社、作新学院高等学校、常総市立石下中学校、葛飾区立中青戸小学校ほか

進学：千葉大学大学院、東京音楽大学大学院

■3つの学びの柱を自由に組み合わせ、自分の将来の夢や仕事を実現しよう。

・学びの柱①『音楽学』では、「音楽と歴史」「音楽と社会」「音楽と価値」という科目によって、クラシック音楽を軸に、音楽とは何かを考え、宇宙までを含めて音楽についての新しい見方を切り開くことができます。

・学びの柱②『多文化音楽』では、「世界音楽と音楽世界」「応用民族音楽学」「伝統と現代」という科目を通して、音楽文化の多様性に着目して、世界のさまざまな音楽を「世界音楽」の視点で観察し、理解できるようになります。

・学びの柱③『音楽教育』では、「音楽教育の基礎」「音楽の比較教育」「音楽の指導論」という科目に基づいて、グローバルに活躍する音楽教育者の育成を目指し、幅広い現場に対応できる力を養うことができます。

■「音楽実技」では、クラシック音楽に限らず、さまざまなジャンルの楽器の演奏や声楽を学ぶことができます。

Curriculum

主なカリキュラム ※2026年度から、より発展的な学びが可能になりました

専攻科目		1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
専攻科目	必修科目	音楽文化教育入門		音楽文化教育研究法		音楽文化教育演習		卒業研究演習 卒業課題	
	専門共通科目	ソルフェージュ 和声 西洋音楽史概論 世界音楽概論 日本音楽史概論		-		-		-	
専攻科目	音楽学	-		音楽と歴史 音楽と社会 音楽と価値		-		-	
	多文化音楽	-		世界音楽と音楽世界 応用民族音楽学 伝統と現代		-		-	
	音楽教育	-		音楽教育の基礎 音楽の比較教育 音楽の指導論		-		-	

【選択科目】 音楽実技、実践演習

Message 教員からのメッセージ

藤田 茂先生
音楽文化教育専攻
教授



音楽を「考える力」と「実践する力」を同時に育てる。
日本でもきわめてユニークな専攻。

この専攻は、音楽学・多文化音楽・音楽教育を、ピアノや声楽、管打楽器などの音楽実技と自由に組み合わせることで、日本でもきわめてユニークな専攻です。教育にあたるのは、それぞれの領域のトップランナーたち。実に刺激的な環境がここにあります。音楽を愛する皆さんは、音楽が娯楽以上のものであることを知っているはず。ならば、わたしたちとともに、知識を深め、言葉を磨き、技術を身につけ、そのことを世界に伝えていきましょう。その努力が、将来の音楽文化をリードする力をあなたに与えるのです。

Voice 在学生からの声

淡河 美海さん
音楽文化教育専攻1年
東京都立富士高等学校卒業



音楽を、多角的に学ぶという選択。
考え、語り、深める。

この専攻では、音楽を多角的な視点から学ぶことができます。1年次必修の「音楽文化教育入門」を通して修得できるのは、音楽における基本的なものの見方。この学びを経ながら、レポートやプレゼンテーションなどの課題、少人数で行われる授業を通して、先生や同級生と意見を深めていきます。実技や副科実技も受講することができるため、さまざまな楽器にふれる機会があります。いろいろな視点から音楽にふれたい！という方に、ぜひ選んでほしい専攻です。

ミュージック・リベラルアーツ専攻

音楽と英語、リベラルアーツの力で世界へ羽ばたく。



リベラルアーツ科目



音楽の学際研究



Pick Up 授業ピックアップ

リベラルアーツ科目

2年次から履修できるリベラルアーツ科目は、ミュージック・リベラルアーツ専攻を大きく特色づける、さまざまな分野の教養を身につけることができる科目群です。授業は英語で行われ、発表によるプレゼンテーション能力も身につきます。これらは自由に選択して履修できます。

音楽の学際研究

学際融合研究の推進に資することを目的に、2024年度から東京大学先端科学技術研究センターと協力し、価値創造を目指して活動を展開しています。講座はサロン形式で、最終目標として東京大学における特別企画（コンサートなど）を開催します。

Message 教員からのメッセージ

早坂 牧子 先生
外国語
准教授



Voice 在学生からの声

津野 絢音 さん
ミュージック・リベラルアーツ専攻
(ピアノ演奏家コース) 4年
東京音楽大学付属高等学校卒業



横断的に学び、二兎も三兎も追え！

音楽も、英語も、その他の科目も学びたい！そんな方にぴったりなのが、ミュージック・リベラルアーツ (MLA) 専攻です。MLAは、音楽の実技科目と英語による教養科目の両輪を軸とした、全国でも珍しい専攻です。学生の専門分野は声楽、器楽、作曲など多岐にわたり、音楽歴も英語力もさまざま。多様性と活気に満ちた環境で、音楽と知のネットワークを広げていきませんか。音楽のみならず人生に成功しよう、それがMLA専攻のポリシーです。 Embark on your journey with us - we're ready to welcome you!

音楽を軸に、「考える力」と「世界を広げる力」を、手に入れる。

この専攻の大きな特徴は、英語に注力した授業を通して、音楽をより広い視点から学ぶことです。英語で行われる教養科目では、自分の考えを言葉にし、音楽と社会や文化とのつながりを深く考える力が養われました。また、多様な夢やバックグラウンドをもつ仲間と学ぶ環境は、大きな刺激になります。一方で、音楽大学としての専門的な音楽科目もしっかり履修でき、尊敬する先生方からの手厚いレッスンを受けられることに幸せを感じる日々です。音楽を軸にしながら将来の可能性を広げられるこの専攻での学びを生かし、これからも広い視野をもって音楽と向き合っていきたいと考えています。

音楽大学におけるまったく新しい、音楽も英語もリベラルアーツもしっかり学べる専攻です。音楽科目は器楽専攻や声楽専攻など同プログラム。そして、英語科目は一般大学の外国語学科よりも少人数のクラスからスタートします。卒業後の進路は演奏家からビジネスパーソンまで多種多彩。英語が音楽活動を広げ、海外留学や国際コンクールに挑戦する者もいれば、音楽を「知」の核としてメディアや広告関連など一般企業で活躍する者もいます。在学中は「音楽」を中心に学ぶことも、「英語」「英語による教養」を中心に学ぶことも自由自在です。音楽を諦めたくないが学業も諦めたくない、国際的に活躍したい、音楽を続けながらよい就職先も確保したい—それならミュージック・リベラルアーツ専攻へ！

- 音楽科目は、1~4年次を通して東京音楽大学ならではの高度なカリキュラム。
- 英語スキル科目で英語を特訓！入学半年後には英語のみで授業を受ける実力がつく。
- 特に人気の「チュートリアル・イングリッシュ」はネイティブスピーカーの教員1人に学生4人。
- 2年次から英語によるリベラルアーツ(教養)科目開始。習うより使って上達。
- 3年次には東京大学先端科学技術研究センターとの協同科目「音楽の学際研究」で高度な学びができる。
- 3年次後半から英語による卒業論文作成開始。プレゼンにも磨きがかかる。
- 卒業演奏/作品+卒業論文(英語)で、世界へ羽ばたく最強の人材に。

卒業生の進路実績

進学：ハーグ王立音楽院、ケルン音楽大学、米国ロードアイランド州立大学院、パークリー音楽院、ロンドン大学、グリーク音楽院、東京音楽大学大学院、お茶の水女子大学大学院、上智大学大学院、神戸大学大学院など
就職先：株式会社ヤマハミュージックジャパン、株式会社だいこう証券ビジネス、株式会社大塚商会、ブライトバス・バイオ株式会社、株式会社博報堂、株式会社山梨中央銀行、島村楽器株式会社、五洋建設株式会社、日本航空株式会社、株式会社三越伊勢丹、株式会社東京国際フォーラム、株式会社みずほ銀行など
教育関係：教員、インターナショナル・スクール講師、音楽教室講師など

Curriculum 主なカリキュラム

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
	専門実技(声楽・ピアノ/演奏家コース・創作・弦楽器・管楽器・打楽器・作曲・指揮・古楽器・邦楽器)							
必修科目	チュートリアルイングリッシュ アカデミックライティング 和声・教養演習		ビジネスライティング		—		卒業論文ゼミ・卒業論文 卒業演奏・制作	
選択必修科目	英語学概論*1・ソルフェージュ アカデミックプレゼンテーション*1 ディベートとディスカッション*1 西洋音楽史概論		アカデミックリーディング*1・イントロダクショントウミュージックヒストリー ミュージックスタディーズ・リベラルアーツA~J*2 (音楽史、ジャズ史、日本音楽、音楽療法、欧州史、経済学、経営と音楽、国際関係、プログラミング、生命科学など) リベラルアーツK、L (海外大学修得科目、上智大学修得科目)					
選択科目	各自の専門実技に準じた実技科目、音楽の学際研究、歌曲史、オペラ史、ピアノ音楽史、日本伝統音楽、ガムラン実習、教養科目、外国語科目など							

*1 英語力が秀でた留学生は「日本語」の履修に変えることができる
*2 英語力が特別に優れている学生は、リベラルアーツ科目の一部を1年次(2セメスター)から履修可能
*専門実技に「指揮」を選択した場合は別途必修科目あり

吹奏楽アカデミー専攻

吹奏楽をより深く、アカデミックに学ぶ。



正しい吹奏楽の知識をもった演奏者や指導者を育成し、その資質を武器にメディアや音楽関連企業、一般企業など業種を問わず社会で活躍できる人材を世の中に送り出すことを目指します。よい指導者であるためにも、よい演奏家、よい音楽家に。そのために個人レッスンや合奏の授業を通して確かな技術と豊かな音楽性を獲得します。学生一人ひとりに合わせた個性を引き出す授業科目を多く用意し、学生が希望する進路に合わせた学修内容を選べる、専攻独自のカリキュラムを構成しています。

- 「バンドディレクション」では、さまざまな指導法に触れ、方法論や計画性、コミュニケーション能力を身につけます。
- 「ワークショップ」では吹奏楽にまつわるさまざまな職業の実地に立ち会うなど、実体験をします。
- 「吹奏楽合奏」「管打アンサンブル」では講師陣も学生と一緒に演奏し、その場で演奏のアドバイスをプロの音を間近で聴くことができます。
- 吹奏楽で用いられるすべての楽器に関する知識を身につけ、指導法や作編曲に結びつけます。
- 段階的に設定された理論系の授業で学ぶことで、吹奏楽の作編曲の能力を修得します。
- マーチングやポップス、作曲や指揮法など専門性の高い分野に関する知識と能力をより深化させる授業科目も充実しています。

Curriculum 主なカリキュラム

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
専攻科目	必修科目	専門楽器実技 バンドディレクション 吹奏楽合奏	専門楽器実技 バンドディレクション 吹奏楽合奏	専門楽器実技 バンドディレクション 吹奏楽合奏	専門楽器実技 バンドディレクション 吹奏楽合奏	専門楽器実技 バンドディレクション 吹奏楽合奏 卒業演奏			
専門共通科目		副科実技(ピアノ) ソルフェージュ 和声 西洋音楽史概論	ソルフェージュ 和声 吹奏楽史	作曲法	—				

【専攻科目(選択)】楽器別指導法、ワークショップ、管打アンサンブル、指揮法演習、吹奏楽作編曲、スコアリーディング、吹奏楽ポップス研究、マーチング演習

Pick Up 授業ピックアップ

バンドディレクション

基礎合奏や楽曲の指導法、世代別の楽団の運営方法、吹奏楽と社会との関わり、合奏で使用される機器の操作方法や活用術、さらには著作権など、吹奏楽の現場に必要とされる知識を4年間で幅広く学びます。講師には学外からも実際に現場で活躍しているさまざまな方を招き、特定の方法論にとらわれず、多様なアプローチに触れていきます。また、4年次には実際にバンドを指揮して、合奏の組み立て方や振る舞い方なども学びます。

楽器別指導法

吹奏楽アカデミー専攻に所属する各楽器の専門家による指導のもと、木管・金管・打楽器・コントラバスと吹奏楽で使われるすべての楽器について学びます。自分たちで実際に楽器を手に取って演奏してみることを通じて、奏法はもちろん、各楽器の基礎知識から原理、メンテナンス方法、指導方法まで修得します。

Message 教員からのメッセージ

小串 俊寿 先生

吹奏楽アカデミー専攻
教授
サクソフォーン



吹奏楽を楽しみながら、
夢と目標に向かっていこう！

吹奏楽アカデミー専攻が開設されて丸7年が経ち2026年度が8年目になります。卒業生たちは、夢と目標を叶えてそれぞれの道に進んでいきました。その進路としては、教員採用試験に合格して音楽教師、吹奏楽指導者、演奏家、音楽系企業、一般企業に就職しながら吹奏楽指導に関わる、大学院へ進学など多様です。この専攻は卒業してから社会への即戦力として活躍できる豊かな人間教育を実践しています。皆さん、一緒に夢と目標を叶えませんか！

Voice 在学生からの声

藤谷 彩夏 さん

吹奏楽アカデミー専攻(ファゴット)3年
八千代松陰高等学校卒業



人として、音楽家として。
吹奏楽の本質と向き合う4年間。

吹奏楽アカデミー専攻では、専門実技・合奏はもちろん指揮や作編曲、指導法などの授業があり、吹奏楽を広く深く学べます。実際にバンドの指揮を振る機会があるため、演奏者と指導者両方の視点に立つことができます。そのため音楽への向き合い方や、自分自身の視野がこの3年間で大きく変わりました。また、各楽器の先生方が合奏授業と一緒に演奏して下さるので、すぐ近くでご指導をいただくことができます。他楽器の学生や先生方と交流ができるのも、吹奏楽アカデミー専攻のいいところのひとつです。音楽家として、そして人として成長できる素晴らしい環境で音楽と向き合える4年間は、私にとっての宝物です。

ミュージックビジネス・テクノロジー専攻

音楽×ICTで未来を切り拓く、
先駆者を育てる。



クラシックのみならずポップミュージックでも我が国トップの教育力をもつ東京音楽大学がつくった、音楽とICTを結合した専攻、それが「ミュージックビジネス・テクノロジー専攻」(MBT)です。現在最前線で活躍するサウンドクリエイターをはじめ、ICT、エンターテインメント、音楽ホールなど関連企業のトップが加わり、音楽業界、ビジネス業界の最新事情を常にフォロー。「音楽×ICT」を身につけ、音楽制作の未来、エンターテインメントの未来、ビジネスの未来を拓く人材を育成します。卒業後は音楽ビジネス業界はもちろん、さまざまな分野で活躍することが可能。従来の産業の枠組みを越えて新しい活動を発想できる起業家精神をも育みます。

音楽関連科目

クラシック、ポップス、民族音楽など、音楽大学ならではの多彩な科目が揃っており、ピアノや作曲などは各人のレベルに合わせて学ぶことができます。箏や三味線、ガムランといった和楽器、民族楽器も体験できます。音楽のセンスを磨きつつ、コンピュータを用いたサウンドテクニック、ミュージック・プログラミング、レコーディング・テクニック、楽曲制作などを段階的に学んでいきます。

ICT関連科目

コンピュータの仕組みを初歩から学びます。プログラミングはPythonやC言語を中心にアプリケーションの制作まで、実社会で必要とされるAI、データベース、クラウド、ネットワーク技術も学修。さらにWebデザイン、ゲーム制作などさまざまなICT技術を体験しながら、基本情報技術者をはじめ、資格取得レベルまで学ぶことができます。

MacBookなどの支給もしくは購入支援

ひとり1台のMac環境を整えるため、本学が定める当該年度の支援制度に基づき端末の支給もしくは購入支援をいたします。さらに、授業で使用する指定ソフト(Microsoft 365、Adobe Creative Cloud、Fender Studio Pro、Cycling '74 Max)については、本学がライセンスを提供します。

Curriculum 主なカリキュラム

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		1 Semester	2 Semester	3 Semester	4 Semester	5 Semester	6 Semester	7 Semester	8 Semester
専攻科目	必修科目	コンピュータ基礎論 コンピュータ数学 ハードウェアおよびOS理論 プログラミング演習 デジタルクリエイション演習 WEBクリエイション演習 音楽基礎 DTM演習 ビジネス最前線	ネットワークとセキュリティとクラウド ミュージック・プログラミング演習 プログラミング演習 デジタルクリエイション総論 WEBクリエイション演習 音楽理論	AIとデータ処理 マネジメント プログラミング演習 卒業プロジェクト	音楽プロデュース演習 卒業プロジェクト 卒業研究				
	選択必修科目	科学・音楽・社会	オフィススペシャリスト レコーディング・テクニック ゲーム制作・ビジネス最前線 情報処理総論	アドバンス・コンピュータ・ミュージック演習 ゲーム制作 LinuxとサーバOS	IOT プログラミング モバイルアプリケーション データベース				

【専門共通科目】 副科実技(ピアノ)、和声、西洋音楽史概論、ポピュラー音楽史概論、世界音楽概論、日本伝統音楽 など

Pick Up 授業ピックアップ

DTM演習1・2

近年、「DIYミュージシャン」や「宅録」という言葉が広まり、特にポピュラー音楽では個人や少数による制作・発信が増えています。「DTM演習1・2」では、スケールやコード、リズムなどの音楽理論を学びながら、DAWを使った打ち込みや編集を実践します。音楽をどのようにパソコンで表現し、形にするか、基礎的な過程を通じて、音楽制作に必要な知識とスキルを身につけます。

プログラミング演習1

コンピュータはさまざまな電子機器の制御、数値計算、シミュレーションなどに用いられます。これらの用途において望んだ動作を得るためには、その動作を適切にプログラミングする能力が必要です。本科目では、コンピュータを用いた設計や開発の基礎として、機械学習やデータ分析における代表的な言語であるPythonの基本文法を解説し、実習を通じてプログラミング能力を修得することを目標とします。

Message 教員からのメッセージ

新井 聡真 先生
ミュージックビジネス・テクノロジー専攻
准教授



Voice 在学生からの声

白井 陽登 さん
ミュージックビジネス・テクノロジー専攻 2年
埼玉栄高等学校卒業



領域を越える。
音楽思考を強靱にする。

「ミュージック」、「ビジネス」、「テクノロジー」。どれも一生をかけて極めるべき深奥な領域です。しかし、ミュージックビジネス・テクノロジー専攻では特定の分野に安住せず、あえて領域を越境することで「知的偏食」を排します。分野の境界で、普遍的な原理を見抜くための地味で地道な試行錯誤を繰り返す。そのプロセスこそが、時代に左右されない強靱な「思考の幹」を太く育むのです。「音楽家の感性、科学者の論理、実務家の視点」を一人の中に統合し、変化に立ち向かう強さを、共に磨きましょう。

音楽とテクノロジーを横断し、
自分らしい表現とキャリアの可能性をひらく。

この専攻では、作曲や音響・録音などの音楽制作に加え、情報技術をはじめ、デザインやCG、映像制作など、音楽の周辺にある多様な分野を初歩から学べます。私は個人での音楽活動を続けながらコンピュータの基礎を学び、2年の春には資格試験にも合格しました。さまざまなツールや分野にふれながら、「好き」をそのまま形にできる環境がこの専攻にはあります。音楽が好きで、同時にテクノロジーにも興味がある人にとって、自分の可能性を大きく広げられる専攻だと思います。

カリキュラム構成

全学必修の基礎教育科目「教養演習」

2023年度より入学初年次の全学必修科目として「教養演習」を開講しています。グループ演習形式で、テーマに関連した資料の検索からはじめ、研究の方法や方向性などを話し合い、口頭と紙面での発表を行うことにより、大学生活に必要なアカデミック・スキルを修得しつつ、課題解決のために必要な思考力・判断力・表現力を身につけることを目的としています。

学生の意欲と進路に合わせた外国語教育

学生一人ひとりの学修意欲と進路に合わせた、外国語科目の構成となっています。必修となっている英語のほか、ドイツ語、フランス語、イタリア語について、各外国語に親しむコースから、留学を目指して徹底的に学ぶコースまで、幅広い構成をとっています。

オープン科目

所属する専攻のカリキュラム以外に、他専攻・コースの専攻科目を履修することができます。本学の専攻・コースの垣根を越えた学びが可能です。修得した単位は、専門共通科目の卒業要件単位として扱われます。

専攻科目

質の高い専門教育を実施し、高度な能力をもつ音楽人を養成するため、経験豊富な教員による個人レッスンとともに、多くの専攻でアンサンブル教育の充実を力を入れています。

科目名は各専攻・コースのページをご覧ください。

専門共通科目 (オープン科目含む)

所属する専攻に関わらず履修することができる選択科目です。専攻の枠を越えた音楽的素養を身につけ、その幅を広げます。

*履修条件が付されている科目や、一部の専攻では履修できない科目があります。

- | | | |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 副科実技(ピアノ、声楽、チェンバロ、フォルテピアノ) ■ 独唱及び合唱 ■ 室内楽 ■ 作曲法 ■ 指揮法 ■ 指揮・管弦楽コミュニケーション演習 ■ ソルフェージュ ■ 和声 ■ 和声分析 ■ 対位法概論 ■ 西洋音楽史概論 ■ 歌曲史 ■ オペラ史 ■ ピアノ音楽史 ■ 管弦楽曲史 ■ 吹奏楽史 ■ ポピュラー音楽史概論 ■ 楽譜学 ■ 音楽分析学 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 音楽美学 ■ 古楽概論 ■ 世界音楽概論 ■ 日本音楽史概論 ■ 日本伝統音楽A(歌唱) ■ 日本伝統音楽B(和楽器) ■ ガムラン実習 ■ マルチメディア演習 ■ ミュージック・ビジネス概論 ■ 音楽キャリア実習 ■ ミュージック・コミュニケーション講座 ■ 指導者養成管弦楽 ■ 指導者養成吹奏楽 ■ 合唱 ■ ピアノ作品解釈とキャリア研究 ■ 通奏低音奏法 ■ 古楽合奏 ■ 管打指導法 ■ スタジオエレクトロニクス | <ul style="list-style-type: none"> ■ 音楽と歴史 ■ 音楽と社会 ■ 音楽と価値 ■ 世界音楽と音楽世界 ■ コミュニティと音楽 ■ 伝統と現代 ■ 音楽教育の基礎 ■ 音楽の比較教育 ■ 音楽の指導論 ■ 実践演習 ■ リベラルアーツA～J ■ ビジネス最前線 |
|---|---|---|



ガムラン実習



マルチメディア演習



ミュージック・コミュニケーション講座



合唱

基礎教育科目

音楽家として、社会人としての豊かな教養を培います。

- | | | | | |
|--|--|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 音楽文献研究(英語) ■ ドイツ語歌詞研究 ■ 音楽文献研究(ドイツ語) ■ イタリア語歌詞研究 ■ 音楽文献研究(フランス語) ■ 英語 ■ ドイツ語 ■ フランス語 ■ イタリア語 | <ul style="list-style-type: none"> ■ スペイン語 ■ ロシア語 ■ 中国語 ■ ラテン語 ■ 心理学 ■ 宗教学 ■ 哲学 ■ 倫理学 ■ 応用倫理学 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 日本史 ■ 西洋史 ■ 東洋史 ■ 日本文化論 ■ 西洋文化論 ■ 東洋文化論 ■ 環境と経済 ■ 現代社会と法 ■ 憲法 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 数学 ■ 宇宙科学 ■ 自然科学 ■ 日本語表現法 ■ 健康・スポーツ科学理論 ■ スポーツ科学実技 ■ 音声学 ■ 音楽療法 ■ メディア論 | <ul style="list-style-type: none"> ■ キャリアデザイン論 ■ 音楽文化環境論 ■ 情報メディア ■ 日本語 ■ 日本の社会と文化 |
|--|--|---|---|---|

特別実技科目

別途受講料を支払うことにより、実技科目を履修することができます。

- ①音楽実技I～VIII
対象:音楽文化教育専攻
ミュージックビジネス・テクノロジー専攻
- ②第2副科実技
対象:全学年・全専攻



邦楽

他大学との単位互換制度

東京音楽大学では、相互に教育内容の充実を図り、交流を深め、多様な価値観に基づく学修機会を提供することを目的に、2010年度より上智大学と単位互換型の学生交流制度を設けています。2年次以上の全専攻の学生を対象に、上智大学の500以上の講座から受講が可能です。また、2020年度より聖心女子大学、2021年度より放送大学、2023年度より東京電機大学理工学部と単位互換制度を開始しました。4大学で修得した単位は本学の単位として認定されます。



上智大学

教育方針

ディプロマポリシー 卒業認定・学位授与の方針

アカデミズムと実学の精神を両立させることによって、個の確立、協調性、社会性、国際性を獲得し、広く社会に貢献することのできる人材を世に送り出します。

カリキュラムポリシー 教育課程編成・実施の方針

個人レッスンを核とする専攻科目を中心に、専門基礎科目・専門共通科目で音楽的能力の基礎を固めるとともにその幅を広げ、さらに基礎教育科目で国際人としての広い教養を身につけることにより、音楽を土台として現代社会のさまざまな局面に対応しうる人材を育成することを目標とします。

アドミッションポリシー 入学者受入れの方針

大学において専門的に音楽を学ぶにあたり、楽譜を読む力、音を聴く力、表現の基礎となるテクニック、様式をとらえる力、楽典の知識が一定のレベルに達していることが重要です。音楽の学習には外国語も必要です。専攻によっては、ピアノ演奏や新曲視唱、新曲視奏の基礎的な能力も必要です。

Pick Up 指揮・管弦楽コミュニケーション演習

器楽の学生が編成したオーケストラに指揮の学生が参加しています。国内外で活躍する演奏家や音楽専門家を特別アドバイザーにむかえることで、忌憚のない現場の生の声を聞く機会ともなっています。教員と学生、専攻や学年の垣根を越えて全員が主体的に参加する本学ならではのアクティブラーニングです。

Pick Up 社会連携教育科目: JASRAC寄付講座「音楽活動と著作権」

実社会の課題認識を通じ、激変する社会で活躍する人材を育てる「社会連携教育科目」。一例として、2027年度からJASRAC寄付講座「音楽活動と著作権」を開講。知財法務専門家やエンタメ・音楽出版業界などの第一線で活躍する実務家を講師陣に迎え、AIなどの最新動向や実務に即した音楽界での活躍に不可欠な権利知識を学びます。



本学の教職課程は、教員に求められる「人間性や社会性」を培う場であることを意識して教育を行っています。今後も講座内容を充実させるとともに、きめ細かな指導を通して、実際の教育現場で活躍できる音楽教員を育成していきます。

育成する教員像

- 教育に対する情熱と使命感を持つ教師
- 豊かな人間性と社会性を持つ教師
- 専門性と指導力を磨き続ける教師
- 学校組織の一員として協働し互いに高め合う教師

取得できる専攻・コース

- 声楽専攻 ●器楽専攻
- 作曲指揮専攻（作曲「芸術音楽コース」、指揮）
- 音楽文化教育専攻
- ミュージック・リベラルアーツ専攻
- 吹奏楽アカデミー専攻



取得できる免許状

- 中学校教諭一種免許状（音楽）
- 高等学校教諭一種免許状（音楽）
- 小学校教諭二種免許状（明星大学通信教育部との教育業務提携による免許状取得）

教職に関する科目・講座

模擬授業を行う「音楽科指導法」「教職実践演習」など、実際の教育現場を意識した授業内容となっています。また、就職支援プログラムとして教員採用試験に必要な面接や小論文対策を行う「教員養成講座」を実施しています。

- 教職論 ●教育原理 ●教育心理 ●特別支援教育概論 ●教育経営論
- 教育課程概論 ●教育の方法と技術（情報通信技術の活用含む）
- 音楽科指導法 ●道徳教育指導論 ●特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 ●生徒・進路指導論 ●教育相談概論 ●教職実践演習（中・高）
- 教育実習 ●教職課程管弦楽 ●教職課程吹奏楽
- 合奏 ●ピアノ演習 ほか

2025年 教員新規採用者数

卒業生の約2名に1名が教育職員免許状を取得しています。

採用の区分	小学校			中学校			高等学校			合計		
	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私
正	0	5	0	0	11	0	0	0	3	0	16	3
他	0	6	1	0	4	1	0	0	0	0	10	2

「正」…国公立学校に正規に教員として採用された者（期限を定めない常勤採用）
 「他」…それ以外で育児休業、病休、産休教員の代替教員、その他期限付きの教員として採用された者（臨時的任用、期限付き任用及び非常勤講師）



Pick Up

教職課程管弦楽・吹奏楽



毎年多くの学生が履修する、本学独自の科目です。最大の長特は「自分の専攻以外の楽器」を体験できること。苦勞しながら合奏を経験することで、はじめての楽器を前にして上手に演奏できない子どもの気持ちを理解し、さらにはアンサンブルのよろこびとともに団体行動における指導方法まで学べます。合奏では各パートの教員が隣で一緒に演奏するため、「本物の音」を知る経験が得られます。実際に教壇に立った時に生きてくる有意義な授業です。

Pick Up

教員養成講座

専門教養・面接指導・論文指導

「専門教養」の講座では、各都道府県の過去問に着目し、音楽に関する問題を分析することで、教員採用試験の出題傾向を知ります。また、授業では映像や音源も取り入れながら日本の音楽、民族音楽、鑑賞、音楽史などの知識をより確かなものにしていきます。さらに、論文・面接指導を通して、教員としての資質・能力も育成しています。

教職教養

「授業で勝負」と言われるように、教科に関する知識、指導力が必要です。しかし、教員の仕事はそれだけではありません。特別の教科道徳、総合的な学習の時間、特別活動の指導も大切です。また、社会と学校のつながり、学校の組織など知らなければいけないことはたくさんあります。教職教養を基に、皆さんと社会の動きや学校をつなぐ授業です。

Message

卒業生からのメッセージ

酒井 菜々子さん
器楽専攻（ピアノ演奏家コース）
 2025年大学卒業
 東京音楽大学付属高等学校卒業

江東区立南砂小学校 教諭



在学中に教育業務提携制度を利用して小学校二種免許を取得しました。「自分の好きな音楽を追究しながら、小学校の先生への道も拓ける」という環境は、私にとって大きな魅力でした。レポートや試験のスケジュール管理をすべて自分で行うのは大変でしたが、自分のペースで学習を進められる自由さがあり、ともに学ぶ新しい仲間との出会いもありました。現在は小学校の全科教員として、ここで得た貴重な経験をフルに生かして働いています。大変なこともありますが、欲張りに学んだ4年間は今の私の大きな自信です。皆さんも、ぜひこの制度で自分の可能性を広げてみてください。

音楽を究めながら、
教壇への道を拓くという選択。

武田 かな美さん
声楽専攻2025年大学卒業
 2025年修了
 横浜国立大学教育学部卒業
 埼玉音楽大学付属高等学校卒業

足立区立洲江中学校 教諭



教職課程で学んだすべてが今の教員生活の土台になっています。指導法や演習の授業では、授業づくりのポイントや板書の仕方、生徒への声掛けの仕方など、細かく丁寧に教えていただきました。教員としてあるべき姿も、先生方のあたたかいご指導、熱い言葉を通して学びました。今の職場では、音楽の授業を通して生徒たちと心を通わせることに幸せを感じる毎日です。また、学校行事の文化祭では学年でミュージカルを行う取り組みがあり、在学中に身につけた学びや経験が今の教育現場で確かに生きています。これからもその学びを土台に、教員として成長し続けていきたいです。

大学での学びすべてが、
教える日々

村田 健太さん
大学院修士課程作曲指揮専攻（指揮）
 2025年修了
 横浜国立大学教育学部卒業
 埼玉県立光園高等学校卒業

埼玉県立吹上秋桜高等学校 教諭



他大学の教育学部で教員免許を取得した後、自身の音楽に関する専門性をさらに高めるため、本学大学院の指揮研究領域に進学しました。大学院在学中には学部の学生とともに教員養成講座を受講し、専門教養などの試験対策に加え、面接指導においても手厚いご指導をいただきました。その結果、万全の態勢で教員採用試験に臨むことができました。現在は高校教員として、生徒一人ひとりに寄り添いながら、音楽を通して学ぶよろこびを実感できるような授業づくりに日々取り組んでいます。本学で得た学びは、現在の教育現場において大きな支えとなっています。

音楽と教育を、より高い次元で結ぶ。

グローバル教育 音楽で拓く、新たな世界の扉。

「音楽は国境を越える」を信念に、世界に通用する人材を育成するため、多彩な交流プログラムを展開しています。ヨーロッパの名門校と提携し、交換留学や教授陣の招聘を実施。研修旅行では協定校でレッスンを受け、演奏会にも参加できます。さらに、イギリス・サセックス大学をはじめとした名門総合大学への留学支援や、アジア諸国の音楽大学との交流も活発に行っています。

主な交換留学提携校 (2026年4月1日現在)

 イギリス 王立バーミンガム音楽院	 フィンランド シペリウス・アカデミー	 オーストリア ザルツブルク・モーツァルテウム大学
 イギリス ハダースフィールド大学	 ロシア モスクワ音楽院	 オーストリア ウィーン国立音楽大学
 イギリス ギルドホール音楽院	 スイス チューリッヒ芸術大学	 ハンガリー リスト音楽院
 イギリス サセックス大学	 ドイツ ハノーファー音楽・演劇・メディア大学	 インドネシア インドネシア芸術大学ジョグジャカルタ校
 フランス エコール ノルマル音楽院	 ドイツ ミュンヘン音楽演劇大学	 インドネシア インドネシア芸術大学スラカルタ校
 スペイン リセウ高等音楽院	 ポーランド シヨパン音楽大学	 ジョージア トビリシ国立音楽院

エコールノルマル音楽院



Japanese Music Friendship Concert
交換留学生と仲間たち



アンサンブル・アンテルコンタンボラン



ラース・ムレクシュ氏
サクソフォーン公開レッスン



第61回芸術祭
交換留学生コンサート

ドイツ ハノーファー音楽・演劇・メディア大学に短期留学

池田 ありさ さん ミュージック・リベラルアーツ専攻 (ピアノ演奏家コース) 3年 東京音楽大学付属高等学校卒業

音楽が日常に息づく異国の地ハノーファーでの短期留学は、毎日が新しい発見と学び、そして刺激に満ちていました。5名の先生方からほぼ毎日のように受けたレッスンでは、技術的な指導にとどまらず、演奏家としての姿勢や音の届け方について多くの気づきを得ることができました。また、先生方の音楽への深い愛情に触れる中で、自分はどういう音で何を伝えたいのかをあらためて考えるようになりました。レッスン以外の時間はドイツ各地へ足を運び、地域ごとに異なる文化や歴史、人々の生活に根づく芸術の在り方を体感しました。多くの方々の支えのもとで得たこの経験を、今後の演奏活動の糧として大切にしていきたいです。



イギリス ギルドホール音楽院に短期留学

齋藤 由珠 さん 器楽専攻 (ピアノ演奏家コース) 4年 千葉県立佐倉高等学校卒業

豊かな歴史をもつロンドンに関心を抱いてきた私にとって、現地で過ごした3週間の短期留学は、音楽への向き合い方を見つめ直し、長期留学したいという夢をより鮮明にしてくれました。指導は、4名の先生方による個人レッスンに加え、自主的に参加できる公開レッスンの機会が。そこでは身体の使い方や音色の変化、全体構成を踏まえたバランスなどを多角的にご指導いただきました。授業の中では、即興や現代音楽、コンサートプログラム作りが特に印象に残っています。主体的に音楽と向き合い、自分なりの解釈を築いていく姿勢を学べた貴重な経験でした。今後はこの学びを演奏に生かしていけるように努めていきたいです。



マスタークラス 世界で活躍する演奏家や教授からの直接指導を、国内で!

本学の大きな特長として、国内外の招聘音楽家によるマスタークラスが挙げられます。キャンパス内で世界のトップレベルの演奏家や教授のレッスンを受けることができ、このような機会をステップにして留学する学生や、コンクールで優秀な成績を取る学生も多く、将来の夢に近づく一助になっています。

ジュゼッペ・サツパティーニ氏の声楽公開レッスンを受講

澤邊 ひかり さん

大学院修士課程声楽専攻 (オペラ) 1年
声楽専攻 2025年卒業
東京音楽大学付属高等学校卒業

オペラ歌手を志し、大学院へ進学。より専門的にオペラの舞台に立つための表現力を磨き、声のヴァリエーションを広げようとしていた矢先に舞い込んだ機会でした。自分にはない視点からのアプローチを学べるのではないかと期待を胸に受講。サツパティーニ先生のレッスンでは、技術や表現といった歌手としてのスキルにとどまらず、楽譜の読み解き方など指揮者の観点からもアドバイスをいただきました。このレッスンを受講したことにより、世界で求められる声や音楽とは何かをあらためて問い直す機会になったと感じています。先生の助言、そして自ら考える課題に向き合いながら、これからも多角的な視点で歌を探究していきたいです。



2025年度に実施した公開レッスン、マスタークラス、講演会など

- アンサンブル・アンテルコンタンボラン (作曲公開レッスン)
- ルイス・クラレット氏 (チェロ公開レッスン)
- ラース・ムレクシュ氏 (現代音楽ワークショップ、サクソフォーン公開レッスン)
- ドミニク・フリースハウワース氏 シャ・ユアン氏 (打楽器公開レッスン)
- アクセル・ブノワ氏 (ファゴット公開レッスン) ほか

「ピアノ作品解釈とキャリア研究」より

- エリソ・ヴィルサラゼ氏 (演奏・ピアノ公開レッスン)
- ローナン・オホラ氏 (ピアノ公開レッスン)
- ジャン・チャクムル氏 (レクチャー「クラシック音楽家としてのキャリアの道程と古い芸術との関連性について」)
- ヘンリー・ジークフリードソン氏 (ピアノ公開レッスン) ほか

奨学金

東京音楽大学奨学金（返済義務なし）

本学では各種奨学金制度を用意しています。

2025年度は、特別特待奨学生16名、給費奨学生62名にそれぞれ支給されました。

詳しくはWebサイトをご覧ください。



奨学金・学費減免の種類	選考	金額
特別特待奨学生	選抜制	原則として授業料相当額とし、その金額は当該特別特待奨学生ごとに理事会において決定する額の給付
給費奨学金特待奨学生	選抜制	50万円～100万円を給付
給費奨学金甲種奨学生	選抜制	30万円を給付
給費奨学金乙種奨学生	選抜制	15万円を給付
TCM後援会奨学金	選抜制	10万円を給付
入学奨学金	出願制	入学金に相当する額を給付
家計急変者奨学金	出願制	授業料の全額もしくは一部を給付
大規模自然災害罹災学生授業料減免	出願制	授業料（理事会の定める額）を減免
同一生計の複数就学者授業料減免	出願制	最上位者以外の授業料の一部を減免
野島稔奨学金基金 海外渡航支援奨学金	出願制	渡航にかかる経費の一部として10万円～20万円を助成
短期留学奨学金	選抜制	参加費、宿泊費、航空運賃の一部を補助

その他の奨学金など

青山音楽財団、瀬木博尚記念芸術文化振興会、戸田育英財団、福島育英会、明治安田クオリティオブライフ文化財団、山田貞夫音楽財団、よんでん文化振興財団、北野生涯教育振興会などの民間財団が事業主体の奨学金があります。

また、経済的理由により就学が困難な学生に対しては、日本学生支援機構、地方公共団体・民間団体などの奨学金制度を紹介しています。詳細は学生支援課までお問い合わせください。

国の高等教育における修学支援新制度 ～学びたい気持ちを応援します～

本学は、国による高等教育の修学支援新制度（授業料等減免・給付型奨学金）の対象校に認定されています。採用された学生は、支援区分に応じた給付月額、授業料減免および入学金減免の支援を受けることができます。希望する場合は、申し込みが必要です。

具体的な支援内容などについては、文部科学省Webサイトまたは日本学生支援機構（JASSO）Webサイトをご覧ください。



文部科学省Webサイト▶

認定留学制度

- 留学中は本学および留学先教育機関への学費の二重の負担が発生しない制度を設けています。
- 1年間（2セメスター）までの留学期間中に海外で修得した単位は、審査の上、本学の単位として認定され、4年間での卒業が可能です。
- 留学に際して、出願をはじめ、各種手続きなど、大学がきめ細かくサポートをします。

早期卒業制度

東京音楽大学は入学後3年間で卒業できる早期卒業制度を導入しています。器楽専攻の学生を対象として学部3年以上在籍し、専攻実技が極めて優秀であり、本学が定める単位を優秀な成績をもって修得したと認められた場合、3年間の在籍で卒業ができます。

学費

参考：2026年度

	入学金（※1）	授業料（※2）	施設等維持費（※3）	合計
春学期	300,000	743,500	277,500	1,321,000
秋学期	—	743,500	277,500	1,021,000

単位：円

※1 付属高等学校からの1年次進学者 150,000円

※2 作曲指揮専攻 作曲「ミュージック・メディアコース」の授業料は、春・秋学期ともに788,500円

※3 音楽文化教育専攻、ミュージックビジネス・テクノロジー専攻の授業料は、春・秋学期ともに543,500円

※3 2年次より、春・秋学期ともに282,500円

※ 学費以外に後援会費（毎年）、入会金（入学時）が必要です。

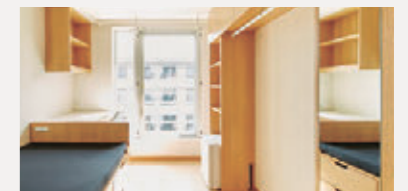
※ 教職課程費：別途

TCM学生寮

「TCM学生寮」（女子寮）は、実家を離れて暮らす学生の生活および学びの環境を充実させることを目的として、2022年4月に池袋キャンパス敷地内に新たに開寮しました。

地上5階建て、124の全個室にWi-Fiを完備し、全室オートロックを導入するなど、セキュリティも充実しています。さらに学生寮を「キャンパス内」に配置することで、学修と生活を近づけるとともに、安全かつ安心な環境が整いました。

入寮する皆さんの毎日に彩りを与え、卒業後も記憶に残る学生生活を過ごせるよう、温かい環境を準備してお待ちしています。



さまざまなサポート

- 学生相談室
学生相談室では、学生生活の中で生じる困りごとや悩みごとについてカウンセラーと話し合い、問題や課題を整理したり、解決に向けて方法を考えたりすることができます。
- 障がい学生修学支援
障がいのある学生に対して、申請に基づき必要な支援を行っています。
- 学生教育研究災害傷害保険および学研災付帯賠償責任保険
教育・研究活動中の不慮の事故などに備えるため、学生全員が加入しています。
- キャンパスメンバーズ制度
国立美術館や東京国立博物館をはじめ、常設展などを無料で利用できます。

後援会

学部生および大学院生の保護者を会員とした組織です。一人ひとりの学生が、安心して充実した学生生活を送ることができるよう、さまざまな支援活動を行なっています。

- 学生主催、学生出演の演奏会への支援
- 音楽コンクール参加への支援
- キャリアアップを志向した各種資格取得への支援
- 海外研修参加費用の助成
- 大学学園祭「芸術祭」への支援
- インフルエンザ予防接種への支援
- 大学への支援（学生相談室、図書館、楽器寄贈）
- 入学お祝い品・卒業記念品の贈呈
- TCM後援会奨学金
- 校友会演奏会参加への支援

コンクール

東京音楽大学はチャレンジの精神を大切にします。

本学の学生はコンクールに意欲的にチャレンジし、毎年の入賞、入選者は100名を超えます。音楽家の登竜門とも言われる国内外のコンクールで優秀な成績を収め、第一線で活躍する卒業生が数多くいます。

第94回日本音楽コンクール声楽部門第1位 および岩谷賞(聴衆賞)、増沢賞、INPEX賞

砂田 愛梨さん

大学院修士課程声楽専攻(オペラ)2015年修了
声楽専攻2013年大学卒業
東京音楽大学付属高等学校卒業

東京音楽大学で過ごした9年間は、私にとって“自分という土台”が形づくられた時間です。歌の技術だけでなく、作品への向き合い方、人としての姿勢まで、幾層にも積み重なった学びが今の私を支えています。とりわけ基礎力の鍛錬の徹底。ソルフェージュや言語、テキスト解釈を重ねる日々は地道でしたが、その積み重ねが舞台に立つための揺るがない土台となりました。“言葉と音楽をどう結びつけるか”という問いも、大学での学びがあったからこそ深まり、イタリアでの研鑽へとつながっていきました。そして先生方から学んだのは、技術以上に「どう生きるか」という姿勢です。身体の使い方、舞台への入り方、立ち居振る舞いに宿る美意識。その背中から吸収したものは計り知れません。専攻を越えた仲間との時間も大きな財産です。声だけでなく“全体の響き”を聴く耳が育ったことは、今の歌い方に深く息づいています。あたたかな校風と大学全体の支えの中で過ごした歳月は、音楽家としてどう生きるかを考え続けた時間でした。その経験こそが、今の私の軸です。



「音楽家としてどう生きるか」
考え続けた9年間。

©Satoru Matsuko

2025年度 武満徹作曲賞 第1位

我妻 英さん

大学院修士課程作曲指揮専攻(作曲)2024年修了
作曲指揮専攻 作曲「芸術音楽コース」2022年大学卒業
山形県立山形北高等学校卒業

今回の審査員であり尊敬する作曲家のG. F. ハース先生に、「いま現在の最大の力を投じた私の音楽を結果にこだわらず見ていただきたい」という思いが、2025年度武満徹作曲賞へ応募を志した最大の理由です。創作のあいだは、師事のさなかに急逝された西村朗先生が存在が常に心の内にあり、受けた恩義に報いたいと願いました。練習では演奏家の皆さまから肯定的な感想も厳しい意見も忌憚なく賜り、その一つひとつが、その後の創作の大きな糧となっています。ハース先生やファイナリストのすばらしい作曲家の方々との交流は、一生の財産です。自分の書き綴った音楽が、大編成の管弦楽によって現実の響きとなる感動は、何にも代え難いものであり、また、一音一音に責任をもって自らの魂を込めることの大切さを学びました。受賞の栄誉は、これからも新しい自らの音楽世界を求めて歩み続ける使命として受け止め、創作に邁進していきます。



いま現在もてる最大の力を、一音一音に込めて。

第4回ドラティ国際指揮者コンクール 第2位(1位なし)

岡本 陸さん

作曲指揮専攻指揮 2021年大学卒業
洛星高等学校卒業

人生では必ず勝負しなければならない時がある、と言われたりします。しかし僕はいつからか勝負することを辞めました。これがよいのか悪いのかはまったくわかりません。自分なりの正解を自分で見つけていく必要があるようです。もっとも大事なことは過程だと思います。どれだけ準備ができるか。コンクールであれ、演奏会であれ、できる限りの準備をして、感謝の気持ちとともに全力を尽くすのみ。音楽家になる準備をする場として、東京音楽大学は最高の環境だと思います。ヨーロッパと日本は違いますが、日本で最高の準備ができれば、あとは新しい環境にアジャストするのみです。本質はすべて日本で勉強できます。今回のコンクールも、大学時代にいただいた教えを書き留めたノートや、レッスンの映像を見返して準備をしました。かけがえのない財産の数々をくださった、広上先生をはじめとするすべての先生方に、心から感謝いたします。



徹底的に準備する。
最高の環境がここにある。

2025年度 主なコンクール等入賞者

掲載しているのは一部です。ホームページをご覧ください。
※学年は受賞時の学年、副賞はひとつのみの掲載。



コンクール名	受賞部門	受賞内容	氏名	専攻・学年/卒業年
NHK交響楽団 第73回「尾高賞」			我妻 英さん	2024年大学院修士課程修了
2025年度 武満徹 作曲賞		第1位	我妻 英さん	2024年大学院修士課程修了
第13回シベリウス国際ヴァイオリンコンクール		第2位 シベリウス協奏曲 最優秀演奏賞	吉田 南さん	2024年アーティスト ディプロマコース修了
第36回朝日作曲賞	合唱組曲	朝日作曲賞	福丸 光詩さん	2024年大学院修士課程修了
第94回日本音楽コンクール	声楽部門	第1位 岩谷賞(聴衆賞)ほか	砂田 愛梨さん	2015年大学院修士課程修了
第94回日本音楽コンクール	オーボエ部門	第2位 岩谷賞(聴衆賞) E.ナカミチ賞	江波戸 大樹さん	2023年大学卒業
第94回日本音楽コンクール	ピアノ部門	第3位 三宅賞	国本 奈々さん	ピアノ演奏家コース3年
第94回日本音楽コンクール	フルート部門	第3位	榛葉 心梨さん	フルート4年
第94回日本音楽コンクール	フルート部門	第4位	坂本 伽耶さん	2016年大学卒業
第23回東京音楽コンクール	声楽部門	第2位 聴衆賞	砂田 愛梨さん	2015年大学院修士課程修了
第23回東京音楽コンクール	ピアノ部門	入選	高見 真智人さん	大学院修士課程1年
第40回日本管打楽器コンクール	パーカッション部門	第2位	古市 日菜さん	打楽器2年
第40回日本管打楽器コンクール	パーカッション部門	入選	阿久根 萌香さん	打楽器2年
第40回日本管打楽器コンクール	パーカッション部門	入選	栗原 柊馬さん	TCMオーケストラ・アカデミー
			佐々木 大芽さん	2017年大学卒業
		第3位 R.S.ウィリアムズ & サンズ ハイドン賞	三田 悠さん	2018年大学卒業
			ジリヤン・シーさん	ザルツブルク・モーツァルテウム 音楽大学卒業
			坂井 武尊さん	2018年大学卒業
第4回ドラティ国際指揮者コンクール		第2位(1位なし)	岡本 陸さん	2021年大学卒業
第7回ブカレスト国際指揮者コンクール		第4位	広田 華奈子さん	2022年大学卒業
山田貞夫音楽財団第7回指揮者オーディション		山田貞夫音楽賞 特選(第1位)	松村 詩史さん	2019年大学卒業
山田貞夫音楽財団第7回指揮者オーディション		山田貞夫音楽賞 山田弘子特別賞	佐藤 秀義さん	2017年大学卒業
第22回イタリア国際打楽器コンペティション(Online)	マリンパ部門 Category B	第1位	阿南 杏佳さん	大学院修士課程1年
第22回イタリア国際打楽器コンペティション(Online)	スネアドラム部門 Category A	第2位(1位なし)	久米 克季さん	打楽器1年
第49回ピティナ・ピアノコンペティション	特級	銀賞	津野 絢音さん	ミュージック・リベラルアーツ専攻 (ピアノ演奏家コース)4年
第49回ピティナ・ピアノコンペティション	特級	入賞	高見 真智人さん	大学院修士課程1年
第49回ピティナ・ピアノコンペティション	Pre特級	金賞	宮本 真璃さん	大学院修士課程1年
第14回ザリオ・マルチアーノ 国際ピアノコンクール		第3位	上本 壮真さん	大学院修士課程1年
令和7年度奏楽堂日本歌曲コンクール	第36回歌唱部門	第2位 木下記念賞(銀) 畑中良輔賞	松浦 宗梧さん	2022年大学卒業
令和7年度奏楽堂日本歌曲コンクール	第31回作曲部門	入選 畑中良輔賞	渡邊 茱白さん	作曲「芸術音楽コース」3年
第7回JCPCB本室内楽ピアノコンクール	プロフェッショナル部門	金賞	福富 愛莉さん	2024年大学卒業
第7回JCPCB本室内楽ピアノコンクール	プロフェッショナル部門	銀賞	玉木 莉乃さん	ピアノ演奏家コース3年
			西村 優里さん	ミュージック・リベラルアーツ専攻 (ピアノ演奏家コース)2年
			陶山 絵梨華さん	ミュージック・リベラルアーツ専攻 (ピアノ演奏家コース)2年
第26回大阪国際音楽コンクール	2台ピアノ部門	第3位	吉川 朋秀さん	吹奏楽アカデミー専攻(フルート)3年
第27回日本演奏家コンクール	木管楽器部門 大学生の部	第1位 毎日新聞社賞 横浜市長賞		

ほか多数

東京音楽大学コンクール

学年・コースの枠を越えて、切磋琢磨し、高め合う。

東京音楽大学コンクールは、学生の演奏意欲と表現技術の向上を目的に、2002年から毎年開催している本学独自のコンクールです。大きな特徴は、学年やコースに分け隔てなく行われること、国際的に活躍する音楽家を学外から迎え、その審査員のみでの審査が行なわれることです。隔年で「ピアノ部門・声楽部門」と「弦楽器部門・管打楽器部門」を開催しています。入賞者には賞状と賞金、そして今後の活動に役立つ講評が与えられます。多くの入賞者が国内外で活躍しており、将来へはばたく学生たちにとって大きな足掛かりとなっています。

2025年度 第24回 本選結果



弦楽器部門

- 第1位 藤原 寛太さん
器楽専攻(チェロ)1年
- 第2位 久保村 桃香さん
器楽専攻(ヴァイオリン)2年
- 第3位 手島 玲さん
器楽専攻(ヴァイオリン)3年



管打楽器部門

- 第1位 小川 冬音さん
大学院研究生(マリンパ)
- 第2位 藤田 智也さん
器楽専攻(サクソフォーン)3年
- 第3位 中野 一真さん
器楽専攻(テューバ)4年

キャリアという言葉のルーツはラテン語の「Carraria」。荷馬車が通った道、つまり「道のり」を意味しています。この言葉はやがて、人の足跡や経歴、人生の道筋を表すようになりました。東京音楽大学キャリア支援センターは、どのような進路選択をするかにかかわらず一人ひとりの未来に向けた「道づくり」を一緒に描き、支援する場です。

幅広いキャリアプランの支援

企業への就職だけでなく、演奏団体からの奏者募集情報の公開や教員養成講座も実施しています。また、企業就職については、音楽関連企業や音楽活動と両立できる一般企業の情報も取り扱っています。

音楽での学びを生かして未来へ

皆さんが音楽の学びを通して身につけた「主体性」「協調性」「独創性」、そして目標に向かって努力し続ける「粘り強さ」は演奏活動で生かせるだけでなく、企業から強く求められる資質であり、これらを発揮して多くの卒業生たちがさまざまな道で活躍しています。

一人ひとりに合わせたサポート

キャリアカウンセラーによる個別相談では、進路が決まっていない段階から相談ができます。キャリアコンサルタントの国家資格をもったカウンセラーが、「自分自身が何をやっていきたいのか」の相談から具体的なキャリアプランの提案・アドバイスまで、個人に合わせたサポートを行っています。

活用
したい!

キャリアカウンセラーによる個別相談

私は大学院進学後の就職活動を見据え、学部4年生の冬頃から定期的に利用していました。キャリアカウンセラーとの個別相談では、どんな小さな悩みや疑問にも親身向き合ってもらい、自己分析から業界研究、面接対策まで幅広い支援を受けることができました。また、志望理由や自己分析の甘さを的確に指摘していただいたことで、自分自身を一から見つめ直し、進みたい進路を明確にすることができました。経験豊富なカウンセラーが複数いらっしゃる、自分に合った形で相談できる点も大きな魅力です。

村上 葵さん 大学院修士課程声楽専攻2年 声楽専攻2024年大学卒業 白百合学園高等学校卒業 日本航空株式会社に内定

Message

内定者からのメッセージ

川邊 美月さん
器楽専攻(クラリネット)4年
千葉県立幕張総合高等学校卒業



株式会社オリエンタルランド
ステージマネージャー

音楽を通して人とつながり、演奏会の企画・運営にも挑戦するなど、演奏する側だけでなく支える側の視点も学びました。音楽に一途に向き合い続けることは決して簡単ではありませんが、この経験は自分の視野や可能性を大きく広げてくれました。キャリア支援センターでは、エントリーシートの添削や面接練習を通して助言をいただき、自身の経験を客観的に振り返ることができました。その中で、自分では気づけなかった強みや経験を言語化する力が身についたと感じています。こうした積み重ねが自信となり、納得のいく形で就職活動に臨むことができました。音楽を通して培った経験は、将来さまざまな場面で生きてくると思います。今日の前にある学びや関心に真剣に向き合うことが、自身の可能性を広げてくれると感じています。

学内企業研究会 2025年度実績

ヤマハ株式会社/ヤマハ音楽振興会/自衛隊音楽隊/株式会社宮地商会(宮地楽器)/任天堂株式会社/株式会社カプコン/株式会社コロプラ/株式会社コーエーテクモホールディングス/公益社団法人日本オペラ振興会/二期会オペラ研修所/株式会社三井住友銀行/SMBC日興証券株式会社/城南信用金庫/日本生命保険相互会社/戸田建設株式会社/株式会社エーピーシー商会 ほか

Course

キャリア支援センターの主要な講座

卒業生 ●卒業後3年以内のサポート

4年次

- 面接対策講座
- フリーランスのための講座
- なんでも相談会

3年次

- インターンシップガイダンス
- 先輩の就活を聞く会
- 企業との共同講座
- 業界・職種研究基礎講座
- 就活スタートアップ講座

2年次

- キャリアデザイン講座
- SPIドリルガイダンス
- 進路ガイダンス
- 合同企業研究会

1年次

- キャリアガイダンス
- キャリアデザイン論



キャリアデザイン論(基礎教育科目)

自身と自身を取りまく社会の状況を理解し、将来に向かい、これからの大学生活をどのように過ごしていくかを明確することをねらいとしています。プレゼンテーションやディスカッションを通し、自身の強みを見だし「やりたいこと」を「できること」にし、将来につなげます。世の中を広く深く見詰め、社会的視野を養うことで、描くキャリアに向け、自らが具体的な行動を起こせるようになることを目指します。



目標を持って
ステップアップ
しましょう!

企業との共同講座

音楽とビジネスを掛け合わせ、新たな価値創出の可能性を探る場です。複数の企業からの参加者とともに、社会や組織の中で音楽をどのように生かすことができるのかを具体的に考える機会となっています。グループワークやディスカッションを通して養われるのは、創造性を社会につなげる視点と課題解決に向けた思考力。専門的な音楽の学びを社会へと広げ、将来のキャリア形成へと結びつける実践的な講座です。



合同企業研究会

大学にて、企業の担当者が各業界や企業の特徴について説明を行います。個別ブースで詳しい相談を行うことも可能(2025年度実績:左下ページ参照)。さまざまな業界の具体的な情報を直接聞くことで、キャリアの視野を広げることができます。



キャリアを考える講座

学生のキャリアを考えるきっかけやヒントになるよう、業界で活躍する方に登壇いただきます。就職を希望する学生のためには、就活スタートアップ講座、インターンシップガイダンス、先輩の就活を聞く会等を開催。演奏家、音楽家を希望する学生のためのフリーランス入門等も好評の講座です。個々のニーズに合わせて参加できる講座を複数開講しています。

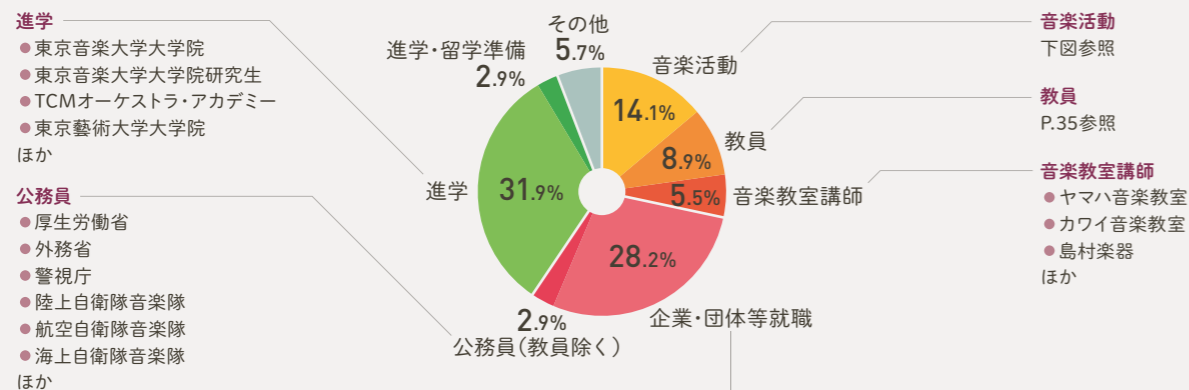
キャリア支援

音楽で培ったチカラを糧に、それぞれの未来へ羽ばたく。



最新の就職実績はこちらをご覧ください。

卒業生の進路 (2025年3月 学部卒業生)



- 進学**
- 東京音楽大学大学院
 - 東京音楽大学大学院研究生
 - TCMオーケストラ・アカデミー
 - 東京藝術大学大学院
- ほか
- 公務員**
- 厚生労働省
 - 外務省
 - 警視庁
 - 陸上自衛隊音楽隊
 - 航空自衛隊音楽隊
 - 海上自衛隊音楽隊
- ほか

- 音楽活動**
- 下図参照
- 教員**
- P.35参照
- 音楽教室講師**
- ヤマハ音楽教室
 - カワイ音楽教室
 - 島村楽器
- ほか

企業・団体の主な一覧 (2025年3月 学部卒業生)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| <p>建設</p> <ul style="list-style-type: none"> 戸田建設 | <p>運輸業</p> <ul style="list-style-type: none"> ANAウイングス | <p>金融業</p> <ul style="list-style-type: none"> SMBC日興証券 みずほ証券 みずほ銀行 | <p>宿泊・飲食サービス業</p> <ul style="list-style-type: none"> ホテルオークラ東京ベイ |
| <p>製造</p> <ul style="list-style-type: none"> アサヒビール ヤマハ 任天堂 | <p>卸売業・小売業</p> <ul style="list-style-type: none"> 島村楽器 良品計画 ルイ・ヴィトンジャパン ティファニー・アンド・カンパニー・ジャパン・インク エルメスジャパン 下倉楽器 | <p>保険業</p> <ul style="list-style-type: none"> 住友生命保険 第一生命保険 | <p>生活・関連サービス業/娯楽業</p> <ul style="list-style-type: none"> テレビ朝日ミュージック オリエンタルランド |
| <p>情報通信業</p> <ul style="list-style-type: none"> 四国放送 日テレ・テクニカル・リソーシズ コエーテックモゲームス | | <p>専門・技術サービス業</p> <ul style="list-style-type: none"> 四季 | <p>社会保険・社会福祉・介護事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ベネッセスタイルケア |
| | | <p>その他サービス業</p> <ul style="list-style-type: none"> ANA成田エアポートサービス | ほか |

株式会社テレビ朝日ミュージック 第2制作本部 A&R部 1課
中道 梨花さん 2025年 作曲「ミュージック・メディアコース」卒業 東洋英和女学院高等部卒業

この職種を志した理由は、大学で楽曲ディレクションの楽しさを感じ、アーティストとともに音楽を創りたいと思ったからです。就職活動では約40社にエントリーし、1社で7度の面接を受ける事もありました。同時に授業課題や公演企画など、目標に向けて取り組んでいました。この会社を選んだ理由は、狭き門でしたが職種別採用で1年目からディレクションを経験できるためです。半年間マネージャーとして楽曲制作やアリーナツアー帯同を経験し、現在はA&R職として、主にアーティスト3組の音楽制作を担当しています。感謝の言葉をいただいた際に、やりがいを感じます。

厚生労働省 厚生労働事務官
小松 玲子さん 2025年 声楽専攻卒業 秋田県立秋田高等学校卒業

歌が大好きで専門的に学びたいと思い、音楽大学の門をたたきました。自分らしい音楽とは何かを見つけたくて、毎日とにかく必死でした。音楽とは関わりがない分野の仕事に就きましたが、大学生活で培ったさまざまな能力が日々の業務にしっかりと生きていて感じています。何かに打ち込んで必死になった日々はかけがえのないものです。どんな職業を選んでも、音楽と正面から向き合った日々は絶対に無駄にはなりません。まずは目の前のことに100%の力で向き合い、視野を広く持って、有意義な大学生活を送ってほしいと思っています。

演奏団体 (卒業生のこれまでの主な進路実績)

- | | | |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> NHK交響楽団 新日本フィルハーモニー交響楽団 東京交響楽団 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 東京都交響楽団 東京ニューシティ管弦楽団 東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団 東京フィルハーモニー交響楽団 日本フィルハーモニー交響楽団 読売日本交響楽団 札幌交響楽団 仙台フィルハーモニー管弦楽団 山形交響楽団 群馬交響楽団 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 | <ul style="list-style-type: none"> オーケストラ・アンサンブル金沢 セントラル愛知交響楽団 名古屋フィルハーモニー交響楽団 大阪交響楽団 大阪フィルハーモニー交響楽団 関西フィルハーモニー管弦楽団 日本センチュリー交響楽団 兵庫芸術文化センター管弦楽団 広島交響楽団 九州交響楽団 千葉交響楽団 富士山静岡交響楽団 中部フィルハーモニー交響楽団 東京佼成ウインドオーケストラ シエナ・ウインド・オーケストラ | <ul style="list-style-type: none"> 東京吹奏楽団 自衛隊音楽隊 警察音楽隊 東京消防庁音楽隊 劇団四季 シカゴ交響楽団 ウィーン・トーンキュンストラ管弦楽団 ノールショピング交響楽団 ハイデルベルク・フィルハーモニー交響楽団 シンガポール交響楽団 台湾国家交響楽団 レーゲンスブルク歌劇場管弦楽団 フラデツ・クローヴェー・フィルハーモニー管弦楽団 シュトゥットガルト室内管弦楽団 |
|--|---|--|
- ほか

大学院音楽研究科



大学院に進学することにより、音楽家、教育者、研究者としてのキャリア形成に必要な、高度な専門知識と技能を深めることができます。

修士課程 (標準修業年限2年)

- 学 位 修士(音楽)
- 入学定員 70名(社会人および外国人留学生を含む)
- 資 格 中学校教諭一種免許状(音楽)、高等学校教諭一種免許状(音楽)を有する者が所定の単位を取得して本大学院修士課程を修了した場合は、中学校教諭専修免許状(音楽)および高等学校教諭専修免許状(音楽)を取得できます。

専攻	研究領域
器楽専攻	●鍵盤楽器研究領域 ●管打楽器研究領域 ●弦楽器研究領域 ●室内楽研究領域
声楽専攻	●独唱研究領域 ●オペラ研究領域
作曲指揮専攻	●作曲研究領域 ●指揮研究領域
音楽文化研究専攻	●音楽教育研究領域 ●音楽学研究領域 ●ソルフェージュ研究領域 ●多文化音楽研究領域 ●吹奏楽研究領域

博士後期課程 (標準修業年限3年)

- 学 位 博士(音楽)、博士(音楽教育学)、博士(音楽学)
 - 入学定員 3名(社会人および外国人留学生を含む)
- | 専攻 | 専門分野 |
|------|--|
| 音楽専攻 | ●器楽 ●声楽 ●作曲指揮 ●ソルフェージュ ●多文化音楽実践 ●音楽教育学 ●音楽学 ●多文化音楽研究 |

TCM 付属機関



付属図書館

楽譜、音楽書を中心とする図書、録音・映像資料など音楽を学ぶために必要な資料をそろえ、両キャンパスのカウンターで提供しています。学内外で利用できる学術情報データベース、音楽配信サービスなども拡充しています。

所蔵資料概要 2025 (令和7) 年3月末現在

図書 — 54,937冊 (内、eBook 1,270点)	映像資料 — 4,335点
楽譜 — 76,309冊 (内、eBook 353点)	雑誌 — 1,110タイトル
録音資料 — 45,277点	電子ジャーナル — 91タイトル
	契約データベース — 14種類



付属幼稚園

音楽を取り入れたきめ細かい保育を行うとともに、音楽大学の付属機関である特色を最大限に生かした音楽教育を行っています。また、早期から英語教育を取り入れ、「聞く」「話す」ことが楽しく自然に身につく指導をしています。保育活動、演奏会、実技個人レッスンなどで学んださまざまな力は、豊かな人間性を育てる礎となります。



付属高等学校

実技レッスンは大学の教員によって行われ、一人ひとりの実力、能力に見合った指導により、生徒の技術力、表現力、感性が磨かれ、音楽の総合力が高められていきます。付属高等学校の校舎は大学の池袋キャンパス内にあるため、高大一貫教育をさらに進化させ、特色ある高大連携カリキュラムの構築を実現しています。



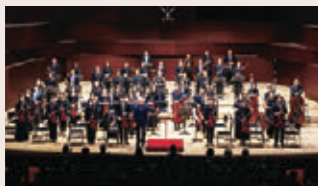
付属民族音楽研究所

「世界音楽」の視点と「伝統と創造」の理念に基づき、日本、中国、インド、インドネシアなど、世界の音楽の理論と実践を研究。世界の楽器資料などを所蔵。欧州の古楽やガムラン音楽など、多彩な公開講座や社会人講座を実施しています。作曲家・元学長の伊福部昭により、1975年に創設されました。



付属音楽教室

徹底したマンツーマン指導で行われる実技レッスンと、音感を育てるソルフェージュ授業により、大学付属の教室として総合的な音楽教育が行われています。音楽を通して想像力・コミュニケーション力を育む、各人の能力に合わせた指導も行っています。在室生の多くは音楽コンクールで優秀な成績を収め、付属高等学校、東京音楽大学に進学しており、国際的に活躍する演奏家も輩出しています。



TCMオーケストラ・アカデミー

2022年4月開設のTCMオーケストラ・アカデミーは、大学卒業以上の方を対象に、高度な演奏技術を教授し、オーケストラ奏者として国内外の職業オーケストラで活躍し、聴衆を魅了する演奏力をもつ音楽家を育成することを目的としています。年間5回の定期演奏会は、完売になるなど好評を博しており、近年はプロのオーケストラに入団するアカデミー生も輩出しています。

音楽を通じた地域・社会との交流

目黒区・豊島区にキャンパスを構える東京音楽大学は、演奏会やイベントなどを通じて、地域とともに歩み、交流を深めています。 ※掲載は一例です。



地域を超え 広がる音楽の輪

- 癒しの森コンサート**
長野県信濃町での東京音楽大学シンフォニーオーケストラ合宿の期間中にコンサートを開催しています。
- 東京音楽大学×藤田医科大学コラボレーション・セミナー**
2023年度に協定を締結。藤田医科大学による健康セミナーと本学によるコンサートを行っています。
- 和光市民文化センター サンアゼリアとの連携演奏会 (ACT Project)**
ACT Projectでは学生が演奏会を実践しながら企画運営を学んでいます。
- 豊島区、目黒区、東京都教育委員会との連携協力協定に基づく諸活動**
区民対象音楽講座の定期開催に加え、部活動の新たな形を模索する支援活動を始動。教員・学生共に、地域に根差し、未来を見据えた音楽活動を展開しています。 (ほか)

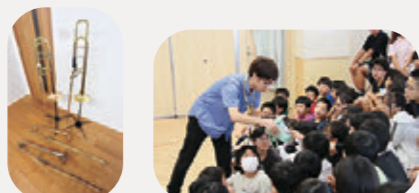
「社会に開かれた大学」を目指して

東京音楽大学は「音楽文化の振興」と「地域社会の活性化」に向け、音楽を通じて地域社会の課題解決に取り組むべく、多くの学生が多様なプロジェクトに参加しています。在学中に社会との接点をつくることで、演奏活動だけでなく卒業後のキャリア形成にもつながります。2022年度に組織されたSDGs推進学生委員会を中心に、13の推進施策に基づく各プロジェクトを進めています。



1年生

音楽大学への進学を決めたのが高校3年生という非常に遅いタイミングでしたが、将来音楽に携わる仕事がしたいと強く思い進学を決意。広義的な演奏技術の追求にとどまらず、自分自身の内面を見つめ直す機会も得られ、充実した日々を送っています。将来のキャリアを形成するために大きな役割を果たすのではと考え、ACT Projectに参加。実際にコンサート企画を立案し、音楽業界で活躍しているアドバイザーの方のお力添えいただきながら、準備・運営を行います。この経験は、奏者としても企画の進み方を学ぶことができるため、間違いない今後の人生の軸となる活動だと感じています。



▲僕の相棒達



▲ACTのアトリーチ公演で小学校へ



▲学外ではたまにチューバも吹きます笑

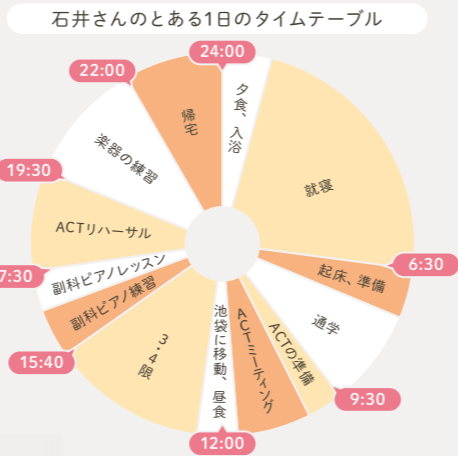


▲自分の企画コンサートの様子



音楽の専門的な学びを将来さらに生かすために。

石井 達也さん 音楽専攻(トロンボーン) 芝浦工業大学柏高等学校卒業



石井さんの時間割

	月	火	水	木	金	土
1限	西洋音楽史概論2	和声I				
2限	ソルフェージュ1-2	英語コミュニケーション2	ACT			
3限	イタリア語(初級)2	世界音楽概論	教職論			
4限	管楽器または合奏II	吹奏楽II	憲法			
5限				副科実技(ピアノ)		
6限	トロンボーン実技					

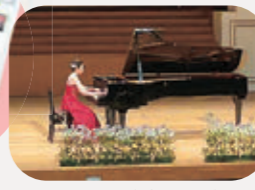
実施キャンパス: 本郷2限中目黒、その他すべて池袋

3年生

私は興味がある授業を多くとって、実技系ではメインのピアノ以外に、副科実技でヴァイオリン、教職吹奏楽でサクソフォーンを勉強しています。ヴァイオリンは未経験ながらも熱心に取り組む、弦楽器について一から学ぶことができました。教職吹奏楽ではサクソフォーンパートの仲間と楽しく合奏でき、他楽器体験の時間ではオーボエも吹くことができました。また、地元の音楽家協会に所属し、コンサートやワークショップの企画運営、スタッフ活動に積極的に参加しています。若手音楽家を中心とする公演では幹部を務め、本番ではピアノで出演。演奏と運営の両面にに関わりながら、毎日充実した日々を送っています。



▲企画運営で関わったコンサートやワークショップのチラシ



▲ピアノ発表会での演奏

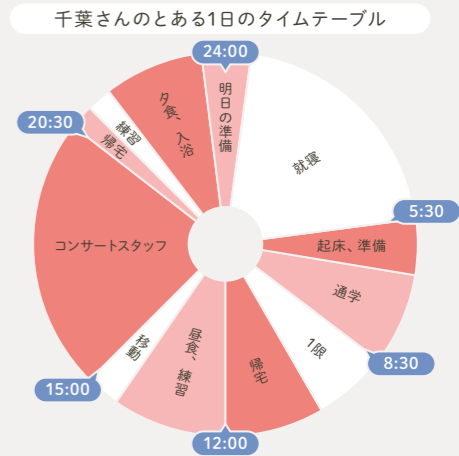


▲教職課程吹奏楽の本番後サクソフォーンパート



経験を重ね、視野を広げる。学びをすべて、実践へ。

千葉 結理さん 音楽文化教育専攻 茨城県立竹園高等学校卒業



千葉さんの時間割

	月	火	水	木	金	土
1限						教育原理
2限	生徒・進路指導論				和声III-II	
3限	ピアノ実技	グローバル音楽文化教育ゼミナール		宇宙科学		
4限	音楽科教育法IV	管弦楽曲史I-II		弦楽器(副科)IV(ヴァイオリン)		
5限		フランス語(初級)2		教職課程吹奏楽II		
6限						

実施キャンパス: すべて中目黒

2年生

大学の授業と並行してアルバイトにも真剣に取り組み、自分自身の生活を豊かに学びの多いものにできるよう日々を過ごしています。学校の主催の行事やプロジェクトに積極的に関わることによって自分の経験値を上げ、将来に活用できるように奮闘中です。芸術祭では音響を担当するSR部署に所属し、3年次には部署長を務める予定です。また東京音楽大学、多摩美術大学、東京電機大学の学生が集まってひとつの展示を作り上げる「3Tプロジェクト」では運営の総括を務め、大学の枠を超えた仲間たちと作品作りに取り組むなど、できる事は最大限に一生懸命取り組んでいます!



▲芸術祭準備中



▲音響の確認作業も部署員の作業です!



▲自分へのご褒美にコンサートを聴きに行きます♪

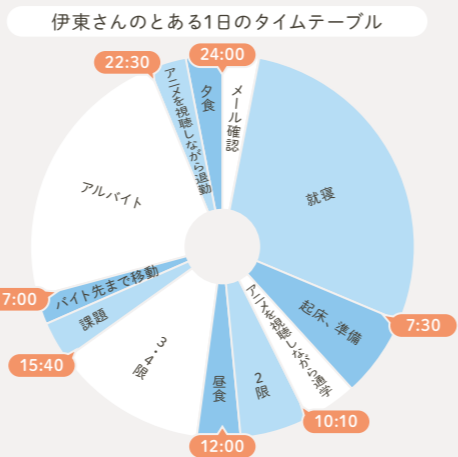


▲昨年度行われた「3Tプロジェクト」ロゴ印刷中



やりたいことに一直線。将来に生かせる力を磨く。

伊東 由衣さん ミュージックビジネス・テクノロジー専攻 雙葉高等学校卒業



伊東さんの時間割

	月	火	水	木	金	土
1限						
2限			音声学	ネットワークとセキュリティクラウド		
3限	プログラミング演習3	音楽理論2				
4限	ミュージック・プログラミング演習2	自然科学	憲法			
5限	ミュージック・ビジネス概論2					
6限	スタジオエレクトロニクス2					レコーディング・テクニック2

実施キャンパス: すべて池袋

4年生

私はミュージック・リベラルアーツ専攻の学生として4年間の大学生生活を過ごしました。ほかの専攻とは必修科目も違い、英語が加わることで忙しさもありますが、この専攻で良かったと毎日感じます。楽器の練習や卒業論文向き合いながらも、時間を見つけてやりたいことは必ずやる。そのためにはどのように時間を作ればよいかを試行錯誤することで、限られた条件の中で優先順位を判断し自ら行動を組み立てる力や、今の自分の状況を客観的に分析する思考力が養われたと感じます。仲間とそれぞれの夢に向かって毎日のすばきことに取り組み、そして同じくらい楽しい時間を共有してきたそんな4年間は私にとって宝物であり、人として成長させてくれました。



▲友達と演奏会に駆けつけてくれました♪



▲授業がなくても1限の時間に大学に行くと卒業論文を進める日もあります。



▲最近読んで面白かった小説です。電車に乗っている時などの移動時間はできるだけ読書をするようにしています。



仲間と楽しみながら、毎日成長できる日々を。やりたいことはなんでもやる!

中武 愛佳さん ミュージック・リベラルアーツ専攻(ピアノ演奏家コース) 長崎県立活水高等学校卒業

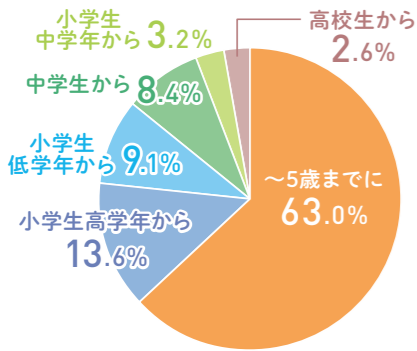


中武さんの時間割

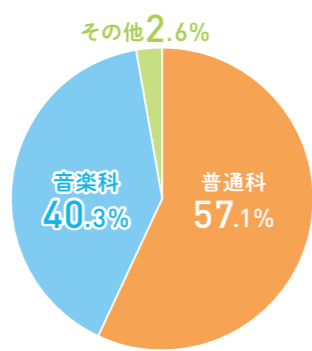
	月	火	水	木	金	土
1限						
2限			教職実務演習(中・高)			
3限			卒業論文ゼミ3			
4限				ピアノ実技	ピアノ実技	
5限				第2副科実技(声楽)	ピアノ作品解釈とキャリア研究2	
6限						

実施キャンパス: すべて中目黒

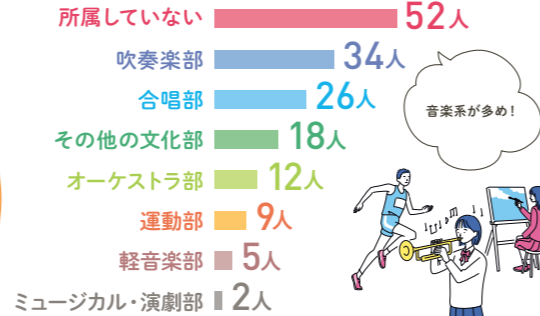
Q. 音楽を始めた時期はいつ?



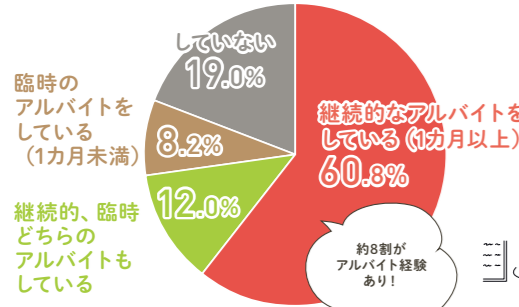
Q. 出身高校は何科?



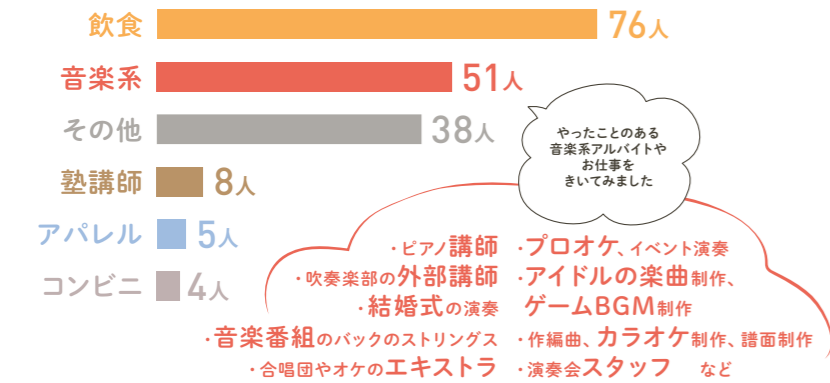
Q. 高校時代の部活動は?



Q. アルバイト経験は?



Q. どんなアルバイト?



Q. 東京音大を一言であらわすと?

カラフル!
教授陣が豪華!
音楽バカ

都会の音大
様々な個性が行き交う
最高の学び舎

Q. 音大生でよかったと思う瞬間は?

「本気で音楽に取り組んでいる人達を間近でみることができ、自分ももっと頑張らなくてはと思う。」

「音楽ネタで盛り上げられる時! (お店で流れているBGMを聴音したりする)」

「就職活動で覚えてもらいやすい!」

「いろいろな楽器の人と演奏できて、一般の大学にはない楽しさを味わえる!!」

「好きなポップス曲などを自分でアレンジして演奏できた時!」

「それぞれ違った角度から音楽に向き合っているので刺激を受けて知見が広がる。専門バカ(褒め言葉)がごろごろいる。」

東京音大生
150人に聞いた!

アンケート



「学生同士が互いを尊重できる大学」

「新しいことにどんどんチャレンジする校風!」



「楽器を超えて仲がいい」

「変人 変人 変人」

「自由に真剣に華の音大生活」

多彩多才

Q. 東京音大の先生のすごいところやエピソードを教えてください!

「先生の一言で、自分の音楽が見違えるように変わるのが、魔法のようです。東京音大で人生の師匠に出会えました。」

「夕すぎるスケジュールをこなしながらいつも元気。」

「先生の思いのこめられた授業!」

「学生思いの先生が多い!」

「サラッと弾いてくださる曲がコンサート並み。」

「人生の先輩としていろいろなことを惜しみなく教えてくださる」ところと、相談事に対して建設的なアドバイスをしてくださるところ。」

「言葉力! レッスン中に出てくる言葉が毎回ユーモアに溢れていて名言集を作りたいくらいです。笑」



「生きていて常々思っています。音楽が自分の人生そのものなので。」

「プロオケ(日フィル)と一緒に舞台上に乗って合唱の経験を積めること。」

「好きなことを恵まれた環境で学べること。大好きな、尊敬する友人、先生に出会えたこと。」

「感情や考えの消化方法として、楽器の演奏が当たり前の選択肢となつたこと。」

「つねに音楽に触れていられるので、自分の学生生活が彩り豊かに感じる。」

「他大学の友達やアルバイト先の人から音大に興味をもってもらいやすく、会話がよく弾む!」

「オペラ歌手の話がアイドルみたいなノリで盛り上がる!」

4月 ● 入学式
● ガイダンス
● 学生健康診断
● 春学期履修登録

6月 ● シンフォニックウインドアンサンブル定期演奏会
● ピアノ演奏会~ピアノ演奏家コース成績優秀者による~
● 学科試験

9月 ● オケストラ合宿
● 学内オーディション合格者によるソロ・室内楽定期演奏会
● 秋学期履修登録

5月 ● 創立記念日

8月 ● 夏期休暇



10月 ● 東京音楽大学コンクール優勝者コンサート

11月 ● 芸術祭
● 東京音楽大学コンクール
● 学内「第九」演奏会

12月 ● 学部卒業実技試験(対象:4年生)
● シンフォニーオーケストラ定期演奏会
● 冬期休暇

1月 ● 学科試験

2月 ● 定期実技試験(対象:1~3年生)

3月 ● 卒業演奏会
● 卒業式
● 春期休暇



卒業生メッセージ

音楽の道を、究めつづける。羽ばたく卒業生たちの今。



ピアニスト 藤田 真央さん
ピアノ演奏家コース・エクセレンス 2020年大学早期卒業

今につなげてくれた大学での学び。

現在、世界各国でコンサート活動をしていますが、在学中に2回挑戦した国際コンクールのおかげで、今につながっています。前学長の野島稔先生をはじめ、鷲見加寿子先生には大変お世話になり、コンクールへのサポートをいただいたことに本当に感謝しています。大学の授業もとても楽しく興味深く、音楽だけでなく教養科目の授業もプロフェッショナルな先生方ぞろいです。外国語の授業では、ロシア語、英語、ドイツ語を学んでいたおかげで、海外に行っても役立つことを実感しています。欲を言えば、もっと勉強したかったかなと。駆け足で過ぎ去った大学生活でしたが、多くの友人との出会いにも恵まれ、ともに過ごした時間は貴重な財産となっています。

ヴァイオリニスト 辻 彩奈さん

アーティストディプロマコース 2023年修了 / 2020年大学卒業

すてきな出会いとたくさんの挑戦を見守ってくれる環境。

東京音楽大学での4年間は、音楽だけでなく人としても成長できた4年間だったと思います。音楽活動をしていく中で学業との両立は大変でしたが、実技の先生だけでなく、大学の先輩方やたくさんの先生方との出会いが私にとってかけがえのないものでした。壁にぶつかったことも辛いこともたくさんありましたが、大学に行くといつも温かく見守ってくださる先生方がいて、常に前を向いて乗り越えることができたなと思います。のびのびといろんなことに挑戦でき、それを温かく見守ってくださる環境が東京音楽大学にはあります。これからも、この人とまた一緒に演奏したい、そう思ってもらえる音楽家になりたいと思っています。



© Makoto Kamiya



オペラ歌手 高野 百合絵さん
大学院声楽専攻独唱研究領域 2019年修了 / 2017年大学卒業

声の成長にいつも寄り添ってくれた先生。

付属高校から同大学院まで、菅有実子教授のご指導のもと、学びました。大学で過ごした有意義な日々が、今の自分のベースとなっています。声の成長は人それぞれです。音楽をやっていると、良い時もあれば、思うようにいかない時もあります。そんな時、いつも先生が親身になって寄り添ってくださったおかげで、今も歌を続けることができています。学生時代は、たくさんコンクールやオーディションに挑戦し、学内外や人前で演奏する場をいただいたことで、自信につながりました。大学には、個性を尊重しながらいろんな音楽性を引き出してくれるような自由な雰囲気がありました。プロフェッショナルな先生方に手厚くバックアップしていただいたおかげで、やりたいことは全力で取り組むことができました。皆さま！大学生活はあっという間ですが、一步一步自分らしく歩いていってください。

名古屋フィルハーモニー交響楽団代音楽監督
札幌交響楽団正指揮者
オーケストラ・アンサンブル金沢パーマネント・コンダクター

川瀬 賢太郎さん
指揮 2007年大学卒業

人間力を鍛えるレッスンで今の指揮者としての自分がいる。

東京音楽大学での4年間は、今の私はありませんでした。指揮のレッスンは、音楽のことはもちろんですが、自分のことを理解し、社会の中でどうやって生きていくか、いわば人間力を鍛えるレッスンだったように思います。オーケストラというのは、社会の縮図のようなものだと思います。いろんな考えをもって当然。中には真逆な考えをもっている人もいます。自分と考えが違うからおもしろくないと思うのか、自分と考えが違うからこそもっと知りたいと思えるのかは、大きな違いです。東京音楽大学で日々レッスンに打ち込んだからこそ、考えの違う人たちのことに興味をもてる人間になりました。そうでなければ、指揮者という職業は務まらないと思いますし、だからこそ今の私があるのかもしれません。



写真提供：名古屋フィルハーモニー交響楽団



作曲家 菅野 祐悟さん
作曲「映画・放送音楽コース」(2021年度より作曲「ミュージック・メディアコース」に統合) 2001年大学卒業

プロフェッショナルの世界の洗礼を受けた学生時代。

学生時代、私にとって一番ためになったのは、授業で毎週必ず、曲を書く課題に取り組んだことです。プロフェッショナルになると毎日何曲も作り続けなくてはなりません。私は入学直後から曲を締切りまでにコンスタントに作り続けるという「プロフェッショナルの世界の洗礼」を受けていたわけです。在学中は学内でトップクラスの器楽専攻の学生に自分が書いた曲を演奏してもらったり、上手なシンガーを見出してデモテープを作ったりと課外活動も積極的に行っていました。この世界でやっていく一番の条件は「情熱」です。限りあるこの4年間で、いろいろなチャンスを貪欲にたぐり寄せ、東京音楽大学で学ぶメリットを最大限に利用してほしいと思います。

NHK交響楽団首席オーボエ奏者 吉村 結実さん

器楽専攻(オーボエ) 2012年大学卒業

演奏家として大きく成長できる、チャンスに出会える場。

東京音楽大学で過ごした4年間の経験が、現在の私の演奏家としての大きな土台となっています。すばらしい先生方の熱心なご指導により、演奏技術はもちろんのこと、切磋琢磨し合える仲間たちとの出会いを通して人としても大きく成長することができたように感じます。東京音楽大学は、個人レッスンだけでなくオーケストラや吹奏楽、室内楽などの実技の授業もとても充実しています。また、学内コンクールや選抜演奏会など、可能性を引き出してくれるチャンスが数多くあります。自分自身と音楽に真摯に向き合えば、それらはすべて生かされる時が必ず来るはず。ぜひ東京音楽大学でさまざまなことにチャレンジしてみてください。



陸上自衛隊 中央音楽隊 牧 優吾さん
器楽専攻(テューバ) 2021年大学卒業

志の高い仲間とすばらしい先生方と。

吹奏楽やオーケストラなど、合奏系の授業は一番力を入れて取り組みました。特にAブラス(「吹奏楽」授業の3・4年次)では、指導者実習という時間に普段することができない指揮にもチャレンジすることができ、音楽をつくる上での視野が一気に広がる貴重な機会になりました。東京音楽大学の魅力はすばらしい先生方がたくさんいらっしゃるということ、志の高い仲間が多いことだと思います。目から鱗のアドバイスを、モチベーションが高まる刺激を先生方からはもちろん、先輩・同輩・後輩からもたくさんもらえます。今は陸上自衛隊の音楽隊員として活動しており、いい音楽をすることで、「音楽」と聴いてくれる人に恩(音)を返していくことが一番幸せなことだと考えています。

東京都交響楽団 打楽器奏者 幸多 俊さん

器楽専攻(打楽器) 2022年大学卒業

この音で、なにを伝えるか。都響で実感する学びの力。

都響では、一つひとつの音の意味を考えながら、オーケストラ全体のバランスの中で演奏することが求められます。ただ音を鳴らすのではなく、「この音でなにを伝えるのか？」を考えることが重要。こうした意識をもてるようになったのも、東京音楽大学での学びがあったからだと思っています。東京音楽大学で過ごした4年間は、技術を磨くだけでなく、音楽と深く向き合う力を培う時間でした。楽譜の背後にある意図や響きをどう表現するかを追求する姿勢は、今の演奏にも生かされています。東京音大は先生方のサポートが手厚く、学ぶ意欲があればとことん追求できる環境。音楽と深く向き合い、表現を追求するには最適な場所だと思います。



©T. Tairadate

声楽専攻



釜洞 祐子 菅 有実子 小森 輝彦 志村 文彦 横山 恵子 粟國 淳 中村 恵理 森 麻季

釜洞 祐子 教授 菅 有実子 教授 小森 輝彦 教授 志村 文彦 教授 横山 恵子 教授 粟國 淳(演出) 特任教授 中村 恵理 特任教授 森 麻季 特任教授 秋山 隆典 准教授 林 正子 准教授 星 洋二 准教授 緑川 まり 准教授 木下 美穂子 特任准教授 杉野 正隆 特任准教授 安達 さおり 専任講師 伊藤 隆浩(演出) 専任講師 小泉 詠子 専任講師 萩原 みか 専任講師 服部 容子(コレペティートル) 専任講師 浅井 隆仁 講師 安達 悦子(身体表現) 講師 エルマン・アリエンティ(ディクシオン) 講師 今井 伸昭(演出) 講師 大島 尚志(演出) 講師 太田 麻衣子(演出) 講師 川原 敦子 講師 九嶋 香奈枝 講師 倉石 真 講師 黒澤 麻美 講師 高橋 淳 講師 高橋 洋介 講師 武田 正雄 講師 成田 伊美 講師 成瀬 当正 講師 野田 ヒロ子 講師 ジョン・ハオ 講師 久恒 秀典(演出) 講師 藤井 奈生子 講師 藤牧 正充 講師 三宅 理恵 講師 嘉目 真木子 講師

器楽専攻 鍵盤楽器



石井 克典 稲田 潤子 浦壁 信二 大竹 紀子 川島 基 東 誠三 ギラ・カツアラヴァ 迫 昭嘉 古屋 晋一



安田 正昭 若林 顕 石井 理恵 御邊 典一 川上 昌裕 菊地 裕介 橋高 昌男 高田 匡隆 渚 智佳



広瀬 宣行 石岡 千弘 長川 晶子 佐藤 展子 佐藤 彦大 仲田 みずほ 浜野 与志男 吉田 友昭

石井 克典 教授 稲田 潤子 教授 浦壁 信二 教授 大竹 紀子 教授 川島 基 教授 岡田 敦子 客員教授 菊地 麗子 客員教授 佐藤 俊 客員教授 武田 真理 客員教授 播本 枝未子 客員教授 東 誠三 特任教授 エリン・ヴィルサーゼ 特任教授 小川 典子 特任教授 ローナン・オホラ 特任教授 ギラ・カツアラヴァ 特任教授 迫 昭嘉 特任教授 古屋 晋一(授業担当) 特任教授 安田 正昭 特任教授 若林 顕 特任教授 石井 理恵 准教授 御邊 典一 准教授 川上 昌裕 准教授 菊地 裕介 准教授 橋高 昌男 准教授 高田 匡隆 准教授 渚 智佳 准教授 広瀬 宣行 准教授 石岡 千弘 専任講師 長川 晶子 専任講師 佐藤 展子 専任講師 佐藤 彦大 専任講師 仲田 みずほ 専任講師 浜野 与志男 専任講師 吉田 友昭 専任講師 河村 尚子 特任講師 小菅 優 特任講師 梅根 恵 講師 大崎 結真 講師 海瀬 京子 講師 片田 愛理 講師 御邊 亮子 講師 北端 祥人 講師 江夏 真理奈 講師 後藤 美由紀 講師 小林 由佳 講師 小藤 圭奈 講師 佐藤 由紀子 講師 島田 美穂 講師 相馬 泉美 講師 智内 威雄 講師 中野 翔太 講師 新見(フェイギン) 浩子 講師 野崎 玲欧 講師 野中 正 講師 半澤 佑果 講師 樋口 愛 講師 松本 愛 講師 宮崎 和子 講師 森 早苗 講師 森山 あす香 講師 安並 貴史 講師 山口 泉恵 講師 山辺 絵理 講師 伊賀 あゆみ(伴奏担当) 講師 加藤 千晶(伴奏担当) 講師 篠田 昌伸(伴奏担当) 講師 竹中 勇人(伴奏担当) 講師 只野 なつき(伴奏担当) 講師 長井 芽乃(伴奏担当) 講師 野宮 淳子(伴奏担当) 講師 藤井 麻理(伴奏担当) 講師 松下 倫士(伴奏担当) 講師 吉本 悟子(伴奏担当) 講師 大塚 直哉(チェンバロ) 特任教授 大村 千秋(チェンバロ) 講師 大木 麻理(オルガン) 講師 小倉 貴久子(フォルテピアノ) 講師

器楽専攻 弦楽器



荒井 英治 神尾 真由子 木野 雅之 竹澤 恭子 横山 俊朗 海野 義雄 大谷 康子 山口 裕之 小栗 まち絵



原田 幸一郎 藤原 浜雄 中村 静香 嶋田 慶子 店村 真積 百武 由紀 ドミトリー・フェイギン 山本 裕康 門脇 大樹



荻田 雅治 鈴木 秀美 毛利 伯郎 星 秀樹 吉田 秀 篠崎 史子 荘村 清志

荒井 英治(ヴァイオリン) 教授 神尾 真由子(ヴァイオリン) 教授 木野 雅之(ヴァイオリン) 教授 竹澤 恭子(ヴァイオリン) 教授 横山 俊朗(ヴァイオリン) 教授 海野 義雄(ヴァイオリン) 客員教授 大谷 康子(ヴァイオリン) 客員教授 山口 裕之(ヴァイオリン) 客員教授 小栗 まち絵(ヴァイオリン) 特任教授 原田 幸一郎(ヴァイオリン) 特任教授 藤原 浜雄(ヴァイオリン) 特任教授 中村 静香(ヴァイオリン) 准教授 嶋田 慶子(ヴァイオリン) 専任准教授 鈴木 亜久里(ヴァイオリン) 専任講師 近藤 薫(ヴァイオリン) 講師 杉浦 美知(ヴァイオリン 授業担当) 講師 館市 正克(ヴァイオリン) 講師 中川 直子(ヴァイオリン) 講師 福田 麻子(ヴァイオリン) 講師 店村 真積(ヴァイオリン) 客員教授 百武 由紀(ヴァイオリン) 特任教授 佐々木 亮(ヴィオラ) 講師 ドミトリー・フェイギン(チェロ) 教授 山本 裕康(チェロ) 教授 門脇 大樹(チェロ) 准教授 萩原 靖子(ハープ 授業担当) 講師 篠崎 史子(ハープ) 特任教授 荘村 清志(クラシックギター) 特任教授 江間 常夫(クラシックギター) 講師 百武 恵子(ピアノ伴奏) 講師 三森 未来子(チェロ 授業担当) 講師 星 秀樹(コントラバス) 客員教授 吉田 秀(コントラバス) 特任教授 永島 義男(コントラバス) 講師 西山 真二(コントラバス) 講師 幕内 弘司(コントラバス 授業担当) 講師 篠崎 史子(ハープ) 特任教授 萩原 靖子(ハープ 授業担当) 講師 荘村 清志(クラシックギター) 特任教授 江間 常夫(クラシックギター) 講師 百武 恵子(ピアノ伴奏) 講師 諸田 由里子(ピアノ伴奏) 講師 山崎 早登美(ピアノ伴奏) 講師

器楽専攻 管打楽器



相澤 政宏 甲斐 雅之 工藤 重典 前田 綾子 中野 真理 岩佐 和弘 古部 賢一 宮本 文昭 野田 祐介 四戸 世紀 松本 健司 重松 希巳江



伊藤 圭 水谷 上総 小串 俊寿 波多江 史朗 平野 公崇 森 博文 水野 信行 福川 伸陽 アンドレ・アンリ 津堅 直弘 岡崎 耕二 杉本 正毅



栗田 雅勝 吉川 武典 池田 幸広 杉山 康人 露木 薫 外間 祥一郎 神谷 百子 久保 昌一 菅原 淳 山田 徹 宮崎 泰二郎

相澤 政宏(フルート) 教授 甲斐 雅之(フルート) 特任教授 工藤 重典(フルート) 特別招聘教授 前田 綾子(フルート) 准教授 中野 真理(フルート) 客員准教授 岩佐 和弘(フルート) 特任准教授 神田 勇哉(フルート) 講師 古部 賢一(オーボエ) 教授 宮本 文昭(オーボエ) 客員教授 荒 絵理子(オーボエ) 講師 副田 真之介(オーボエ 授業担当) 講師 南方 総子(オーボエ) 講師 吉村 結実(オーボエ) 講師 野田 祐介(クラリネット) 教授 四戸 世紀(クラリネット) 客員教授 松本 健司(クラリネット) 特任教授 重松 希巳江(クラリネット) 准教授 伊藤 圭(クラリネット) 特任准教授 勝山 大輔(クラリネット) 講師 水谷 上総(ファゴット) 教授 宇賀神 広宣(ファゴット) 講師 長 哲也(ファゴット) 講師 小串 俊寿(サクソフォン) 教授 波多江 史朗(サクソフォン) 特任准教授 平野 公崇(サクソフォン) 特任准教授 五十嵐 健太(サクソフォン) 講師 本堂 誠(サクソフォン) 講師 森 博文(ホルン) 教授 水野 信行(ホルン) 客員教授 福川 伸陽(ホルン) 准教授 五十畑 勉(ホルン) 講師 勝俣 泰(ホルン) 講師 日橋 辰朗(ホルン) 講師 吉永 雅人(ホルン) 講師 アンドレ・アンリ(トランペット) 教授 津堅 直弘(トランペット) 客員教授 岡崎 耕二(トランペット) 特任教授 杉本 正毅(トランペット) 准教授 高橋 敦(トランペット) 講師 辻本 憲一(トランペット) 講師 波多江 史朗(トランペット) 講師 澤田 真人(トランペット) 講師 栗田 雅勝(トロンボーン) 教授 吉川 武典(トロンボーン) 教授 井口 有里(トロンボーン) 講師 井上 亮(トロンボーン 授業担当) 講師 今村 岳志(トロンボーン) 講師 岸光 開城(トロンボーン) 講師 野々下 興一(トロンボーン) 講師 池田 幸広(チューバ) 特任教授 杉山 康人(チューバ) 特別招聘教授 萩野 晋(チューバ) 講師 近藤 陽一(チューバ) 講師 露木 薫(ユーフォニアム) 教授 外間 祥一郎(ユーフォニアム) 教授 岩黒 綾乃(ユーフォニアム) 講師 神谷 百子(打楽器) 教授 久保 昌一(打楽器) 教授 菅原 淳(打楽器) 客員教授 山田 徹(打楽器) 特任教授 宮崎 泰二郎(打楽器) 特別招聘教授 柴原 誠(打楽器) 講師 西久保 友広(打楽器) 講師 堀尾 尚男(打楽器) 講師 和田 光世(打楽器) 講師 石崎 真弥奈(指揮) 講師 鈴木 衛(指揮) 講師

掲載している教員はすべてではありません。最新の情報はこちらをご覧ください。



教員紹介

*敬称略 *五十音順

作曲指揮専攻 作曲「芸術音楽コース」



中橋 愛生	野平 一郎	原田 敬子	藤原 豊	梶場 富美子	柴山 拓郎	有馬 純寿	植田 彰	坂田 直樹	久保 哲朗
中橋 愛生	野平 一郎	原田 敬子	藤原 豊	梶場 富美子	柴山 拓郎	有馬 純寿	植田 彰	坂田 直樹	久保 哲朗
教授	教授	教授	教授	客員教授	特任教授	准教授	准教授	准教授	准教授
有馬 純寿	植田 彰	坂田 直樹	久保 哲朗	赤石 直哉	伊左治 直	神山 奈々	磯部 英彬	喜久 邦博	茂木 宏文
准教授	准教授	特任准教授	特任准教授	特任准教授	特任准教授	講師	講師	講師	講師
久田 典子	久行 敏彦	茂木 宏文	森垣 桂一	山下 美香	久田 典子	久行 敏彦	茂木 宏文	森垣 桂一	山下 美香
講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師

作曲指揮専攻 作曲「ミュージック・メディアコース」



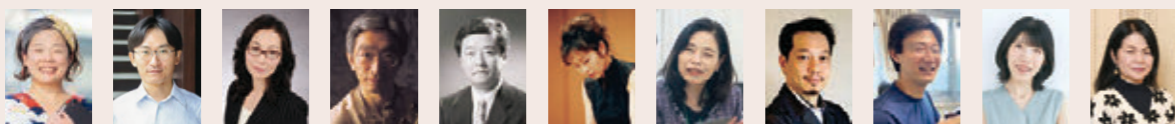
石川 洋光	後藤 加寿子	佐藤 直紀	藤原 豊	梶場 富美子	難波 弘之	堀井 勝美	大和田 俊之	河野 洋一	小杉 周水	野呂 一生	山下 康介	土屋 真仁	西木 康智
石川 洋光	後藤 加寿子	佐藤 直紀	藤原 豊	梶場 富美子	難波 弘之	堀井 勝美	大和田 俊之	河野 洋一	小杉 周水	野呂 一生	山下 康介	土屋 真仁	西木 康智
教授	教授	教授	教授	客員教授	客員教授	客員教授	特任教授	特任教授	特任教授	特任教授	特任教授	特任教授	特任教授
大和田 俊之	河野 洋一	小杉 周水	野呂 一生	山下 康介	土屋 真仁	西木 康智	石川 晃士郎	梅野 絵里	後藤 慶一	林 秀幸	今井 義頼	山田 裕之	小野 昭彦
特任教授	特任教授	特任教授	特任教授	特任教授	特任教授	特任教授	専任講師	専任講師	専任講師	専任講師	専任講師	専任講師	専任講師
澤田 佳歩	澁江 夏奈	久田 典子	本田 綾香	澤田 佳歩	澁江 夏奈	久田 典子	本田 綾香	澤田 佳歩	澁江 夏奈	久田 典子	本田 綾香	澤田 佳歩	澁江 夏奈
講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師

作曲指揮専攻 指揮



リック・オヴァトン	広上 淳一	田代 俊文	増井 信貴	川瀬 賢太郎	松井 慶太	ジョン・アクセルロッド	ボリス・ベルキン	岩佐 和弘
リック・オヴァトン	広上 淳一	田代 俊文	増井 信貴	川瀬 賢太郎	松井 慶太	ジョン・アクセルロッド	ボリス・ベルキン	岩佐 和弘
教授	教授	客員教授	客員教授	特任教授	特任教授	特別招聘教授	特別招聘教授	特任准教授
小野 富士	加納 明洋	河上 隆介	喜古 恵理香	佐藤 和男	杉原 直基	平林 遼	堀 大輔	三河 正典
講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師
岩佐 和弘	田島 亘祥	坂元 勇仁	高島 勲	藤井 宏一郎	碓山 隆一郎	石坂 宏	井上 勢津	太田 巡
特任准教授	専任講師	特任講師	特別招聘講師	特別招聘講師	講師	講師	講師	講師
岩佐 和弘	田島 亘祥	坂元 勇仁	高島 勲	藤井 宏一郎	碓山 隆一郎	石坂 宏	井上 勢津	太田 巡
特別アドバイザー	特別アドバイザー	特別アドバイザー	特別アドバイザー	特別アドバイザー	特別アドバイザー	特別アドバイザー	特別アドバイザー	特別アドバイザー
米元 響子	渡邊 稜	朴 賢娥	福田 ひろみ	遠坂 愛	大澤 明	香澤 玲奈	菅原 達郎	滝本 紘子
特別アドバイザー	特別アドバイザー	特別アドバイザー	特別アドバイザー	助手	助手	助手	助手	助手
米元 響子	渡邊 稜	朴 賢娥	福田 ひろみ	遠坂 愛	大澤 明	香澤 玲奈	菅原 達郎	滝本 紘子
特別アドバイザー	特別アドバイザー	特別アドバイザー	特別アドバイザー	助手	助手	助手	助手	助手
武田 麻里江	西口 彰浩	早川 寛	水村 怜央	浅野 将己	五島 友朗	副島 達矢	松村 詩史	
助手	助手	助手	助手	研究員	研究員	研究員	研究員	

音楽文化教育専攻



福田 裕美	藤田 茂	壬生 千恵子	小日向 英俊	村田 千尋	滝田 美智子	下道 郁子	土屋 真仁	新林 一雄	丸山 瑠子	内藤 久子
福田 裕美	藤田 茂	壬生 千恵子	小日向 英俊	村田 千尋	滝田 美智子	下道 郁子	土屋 真仁	新林 一雄	丸山 瑠子	内藤 久子
教授	教授	教授	客員教授	客員教授	特任教授	特任教授	特任教授	特任教授	准教授	特任准教授
丸山 瑠子	内藤 久子	赤羽 美希	アヨーン・バトエルデネ	井上 勢津	ウメトバエウ・カリマン	王 明君	太田 暁子	菊地 大	岸 美咲	木村 佳代
准教授	特任准教授	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師
丸山 瑠子	内藤 久子	赤羽 美希	アヨーン・バトエルデネ	井上 勢津	ウメトバエウ・カリマン	王 明君	太田 暁子	菊地 大	岸 美咲	木村 佳代
准教授	特任准教授	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師
木村 佐千子	近藤 隆史	坂本 夏樹	澤口 遊雲子	柴田 康太郎	周東 美材	首藤 久美子	杉浦 孝夫	園田 みどり	田辺 恵山	千葉 伸彦
講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師
木村 佐千子	近藤 隆史	坂本 夏樹	澤口 遊雲子	柴田 康太郎	周東 美材	首藤 久美子	杉浦 孝夫	園田 みどり	田辺 恵山	千葉 伸彦
講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師
中村 千鶴	針生 すぐり	樋口 文子	ピノス・マツダ・デレク・ケンジ	洲上 ラファエル 広志	水戸 茂雄	宮川 涉	村田 圭代	横井 雅子	吉澤 徹	
講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	

ミュージック・リベラルアーツ専攻



リック・オヴァトン 大竹 紀子 早坂 牧子

リック・オヴァトン	大竹 紀子	柴崎 かがり	高岡 明	竹内 佐和子	中野 明彦	山崎 泰規	藤崎 一郎	早坂 牧子	クリーン・クリスティナ・シュムコー	高橋 寛
教授	教授	特任教授	特任教授	特任教授	特任教授	特任教授	特別招聘教授	准教授	講師	講師

吹奏楽アカデミー専攻



小串 俊寿 久保 昌一 中橋 愛生 下野 竜也 天野 正道 星出 尚志 小林 恵子 横山 奏 木村 圭太

小串 俊寿(サクソフォン)	久保 昌一(打楽器)	中橋 愛生(作曲/理論)	下野 竜也(指揮)	天野 正道(作曲)	星出 尚志(作曲/ポップス)	小林 恵子(指揮)	横山 奏(指揮)	木村 圭太(テューバ)	山内 豊瑞(フルート)	堀口 憲一(オーボエ)	近藤 薫(クラリネット)	原 浩介(クラリネット)	中川 日出鷹(ファゴット)	藤沼 雅紀(サクソフォン)	石川 善男(ホルン)	荻原 明(トランペット)	渡邊 善行(トロンボーン)	川野 聡子(ユーフォニアム)	坂本 雄希(打楽器)	藤井 将矢(コントラバス)	海老沢 慶人(マーチング)	松下 倫士(スコアリーダー)		
教授	教授	教授	特任教授	特任教授	特任教授	特任准教授	特任准教授	専任講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師

ミュージックビジネス・テクノロジー専攻



羽石 祐一 柴山 拓郎 東条 敏 新井 聡真 有馬 純寿 柴田 良二 神谷 匠

羽石 祐一	柴山 拓郎	東条 敏	新井 聡真	有馬 純寿	柴田 良二	神谷 匠	石川 晃士郎	神谷 匠	秋山 大知	伊藤 史崇	紙本 裕一	外崎 銀河	竹本 清香	鄭 直樹	平岩 宗	松澤 智史	今井 雅則	湯水 秀一	五木田 聡	齋藤 精一	鈴木 博喜	平井 康文	福本 ともみ	鈴木 幸一	
教授	特任教授	特任教授	特任教授	准教授	特任准教授		専任講師	専任講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	講師	特任教授	特任教授	特任教授	特任教授	特任教授	特任教授	特別アドバイザー

基礎教養科目など



岡島 礼 豊永 聡美 羽石 祐一 荒尾 岳児 石田 恵里子 早坂 牧子 山洞 智 久保 哲朗

岡島 礼(ソルフェージュ)	豊永 聡美(教養教育)	羽石 祐一(教養教育)	荒尾 岳児(ソルフェージュ)	石田 恵里子(日本語)	早坂 牧子(英語)	山洞 智(ソルフェージュ)	久保 哲朗(ソルフェージュ)
教授	教授	教授	准教授	准教授	准教授	准教授	専任講師

教職課程科目



白倉 孝弘 伊藤 民子 小原 利明 矢田 訓子

白倉 孝弘	伊藤 民子	小原 利明	矢田 訓子	河上 隆介	齋藤 博志	橋本 絵里子	森岡 耕平	吉原 ちより
教授	准教授	准教授	准教授	講師	講師	講師	講師	講師

TCM



Website



YouTube



Instagram



X



東京音楽大学

中目黒・代官山キャンパス(学校法人本部)
 〒153-8622 東京都目黒区上目黒1-9-1
 TEL.03-6455-2700 FAX.03-6455-2770

池袋キャンパス
 〒171-8540 東京都豊島区南池袋3-4-5
 TEL.03-3982-3186 FAX.03-3982-3183



Google Map

池袋キャンパス
 J R / 「池袋駅」東口または「目白駅」より徒歩約15分
 私 鉄 / 西武池袋線・東武東上線「池袋駅」より徒歩約15分
 地下鉄 / 丸ノ内線・有楽町線「池袋駅」より徒歩約15分
 副都心線「雑司が谷駅」より徒歩約5分
 都 電 / 荒川線「鬼子母神前停留場」より徒歩約3分
 都バス / 「南池袋一丁目」より徒歩約3分



Google Map

中目黒・代官山キャンパス
 J R / 「恵比寿駅」より徒歩約14分
 私 鉄 / 東急東横線「中目黒駅」・「代官山駅」より徒歩約5分
 地下鉄 / 日比谷線「中目黒駅」より徒歩約5分

